eSpring™Ⅱ

eSpring™浄水器Ⅱ　製品ガイド

Amway

あんしんで
おいしい水は、
家でつくる。

eSpring™Ⅱ

アムウェイのeSpringは、

売上高
世界No.1*の

キッチン用浄水器のブランドです。

＊2011年グローバルセールスに関する
ヴェリファイマーケット社調査に基づく。

eSpring

おいしい水に欠かせない
ミネラル分を失わずに、
140以上の物質を効果的に除去。

安心な水を蛇口から、たっぷり気軽に使いたい。水の豊かな国日本でさえ、暮らしの中で使われる水に関する意識は年々高まっています。それは水が、私たちの暮らしの基本にあることをたくさんの人が意識するようになったからです。水を買うことは、もはやどこでも見かけられる風景。ご存じの通りアムウェイは1959年の創業以来、水や健康にこだわって製品開発を行い続けているメーカーです。「エコ」などという言葉もまだ生まれていない頃から、できるだけ環境に負荷をかけない洗剤の必要性を重視してL.O.C.を発売。サプリメントのニュートリライトは、一貫して無農薬有機栽培にこだわり続けてきました。家庭で使われる水への関心が世界的に高まる中、日本の浄水器市場に「アムウェイ浄水器」がデビューしたのは今から15年以上も前。続いて、次世代機「eSpring浄水

器」を2000年に発売。水道水からイヤな味や臭いの原因となる塩素を除去するだけではなく、有機化学物質などの不純物、さらにはもっと小さなウイルスの不活性化まで可能にする高度な浄水能力は高い評価を得て、2006年度には据置型浄水器市場でトップシェア*を獲得しました。実は、水から不純物を取り除く技術は比較的簡単です。市販のミネラルウォーターなどでもまず徹底的に不純物を取り除き、あらたにミネラル分を添加する方法でつくられているものもあります。不純物、さらにミネラル分までも取り除く安心なだけの水なら簡単につくれます。しかしながら、そのような水はおいしくありません。アムウェイの浄水器開発のポリシーは、水道水に含まれるミネラル分（おいしさの源）をできる限り取り除かずに、不要な物質を除去すること。安心で、しかもおいしい水を作るその優れた浄水技術は、eSpring浄水器Ⅱにもしっかりと受け継がれています。

* 2006年度レンタル浄水器を除く据置型浄水器の出荷台数ベース　矢野経済研究所調べ（2007年9月現在）

何を残すかにまで注目した、eSpring浄水器Ⅱ

安心で比べてほしい水、
おいしさで比べてほしい水。
eSpring浄水器Ⅱ

1
水の基礎知識
P.8

2
製品情報
P.28

3
テクニカル
インフォメーション
P.50

4
仕様および
製品一覧
P.62

1

水の基礎知識

1-1 人と水の関わり1 …… 10
1-2 人と水の関わり2 …… 12
1-3 水道水の話 …… 14
1-4 水に関するデータ1 …… 16
1-5 水に関するデータ2 …… 18
1-6 おいしい水の条件1 …… 20
1-7 おいしい水の条件2 …… 22
1-8 おいしい水の豆知識 …… 24
1-9 浄水器タイプ別比較 …… 26

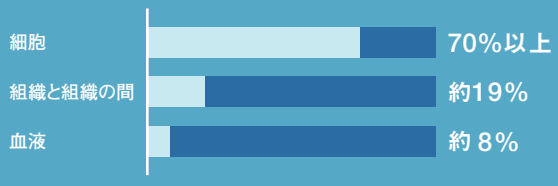
カラダの60%は、水。
それを、忘れないでください。

人のカラダをつくっている物質の中で、もっとも多いのは水です。
平均的な体重の成人でも約60%は水分で、幼児や子供では約80%にもなります。
人間のカラダは、想像以上に水に占められていることがわかります。
この水の多くは、細胞内に蓄えられていて代謝などを行う際に使われています。
人は4〜10日水を飲まないと死んでしまうと言われているだけに、水が体内で果たしている役割は大きいのです。
体重50kgの人なら体内の水分量は約30L。その1%に当たる300mLが不足すると、のどに渇きをおぼえ、
わずか2%=600mLの不足でも脱水症状を起こすことさえあります。
生命活動を維持するために必要なさまざまな要素の中でも、
水はきわだって重要な存在だということがわかります。
ちなみに今から半世紀以上も前、1955年にはWHO(世界保健機関)が
「きれいな水は健康のもと」というスローガンを掲げ、健康な生活における水の重要性を強調しています。
きれいな水の存在は、私たちの毎日の健康と密接に関わっているのです。

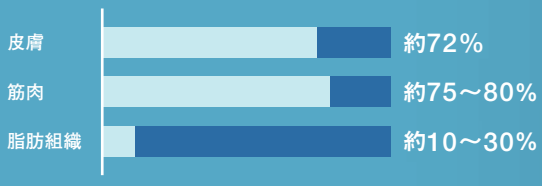
成人 約 60%

子供 約 80%

人体における水の割合



人体の各組織における水の割合



水の大切なはたらき

1. 気温が高い時には体内の水を汗として放出し、体を冷却。体温の調節に重要な役割を果たします。
2. 目や口、鼻孔に潤いを与えてこれらの器官の正常な働きを促し、体を快適に保つ働きをします。
3. 体内に栄養分と酸素を運び、不要成分を排出する手助けをしています。
4. 体温維持や血圧調整を助けるとされる、ミネラルのバランスを保つと言われています。
5. 薬の飲用時の希釈や嚥下（えんげ）を助けて胃の負担を軽くし、すばやく効果的に摂取されるのを助けます。
6. こまめに飲むことで、のどの渇きをいやすとともに満腹感を与え、食欲を抑えると言われてます。
7. 肌に水分を与えてスムーズかつソフトに保ち、肌にしなやかさと張りを与えてくれます。
8. 水は、血液やリンパ液の流れをスムーズにして、体内に栄養を運びます。

毎日2.5Lの水が、体内を通り抜けます。

摂取する水

飲み水
約 1.2L

食べ物の中の水
約 1L

体の中でできる水
約 0.3L

合計
約 2.5L

人は飲み水と食べ物から、水分を補給します。
だからこそ、その水の質を選びたい。

人が1日に必要とする水分量は、体重1kg当たり成人で0.04L、幼児は0.15L。
つまり60kgの大人で約2.5L、10kgの子供でも約1.5Lの水分を
1日に摂取する必要があります。ベッドに横になって何もしない安静時であっても、
成人男子なら2.5Lの水が、汗や排出物として体内から失われます。
仕事をしたり運動をすれば、その量はさらに増大します。
人の体は自然に体内の水のバランスを調節し、水を循環させることで
生命を維持しなければなりませんから、不足する分を毎日補うことが大切です。
水分補給は飲み水と食べ物からがほとんどですので、
毎日摂取する水の質には十分にこだわって選びたいものです。

排出される水

汗と呼吸
約 0.9L

尿・便
約 1.6L

合計
約 2.5L

※ 環境省 2008年「熱中症環境保健マニュアル」より

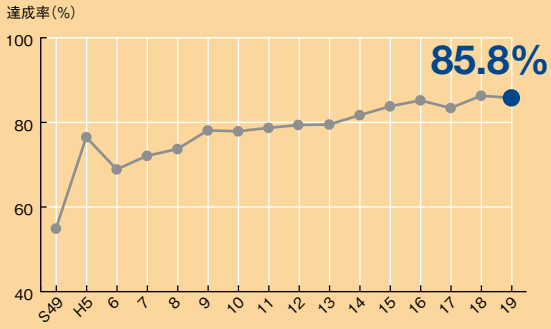
目覚めてすぐ、おやすみ前、できれば、のどが渇く前。
こまめに水を摂るのが、効果的。

厚生労働省では、「健康のために水を飲もう推進委員会」が設置されていて、毎年、推進ポスターやリーフレットで水を飲むことの大切さをアピールしています。発汗によって血液中の水分が減少した状態のままでいると、血液が濃縮してしまい酸素や栄養素の運搬や体温調節が正常に行われなくなり熱中症などを起こしてしまいます。のどの渇きは、すでに体内で脱水状態が始まっている証拠。渇きを感じる前に、こまめに水分を補給しておくことが大事なのだそうです。
スポーツを行う時はもちろんですが、睡眠の前後、入浴前後、飲酒の際など意識的に水を摂る。日本人の場合、不足しがちな水の量はコップ2杯程度が平均と言われています。これなら、気軽に補える量です。しかし水分を摂るとき砂糖や塩分の濃度が高いと吸収までの時間が長くなってしまいます。利尿作用のあるコーヒーなどのカフェイン飲料やアルコールも健康のための水の摂取には適していないので、体が必要とする水をたっぷりと補給することが大切です。

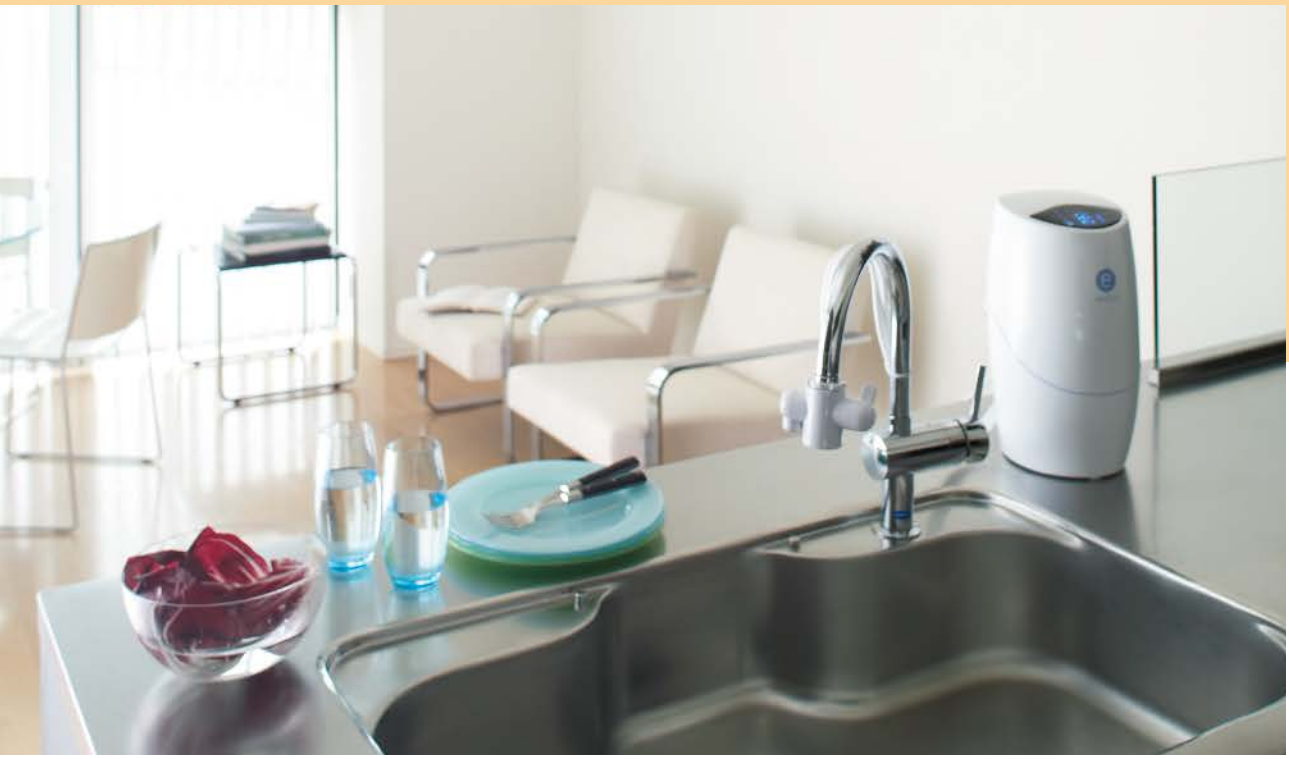
日本の水道水の安全性は世界指折りです。それでも、おいしい水にこだわる人が年々増えています。

水を採取する河川や湖沼の環境は、年々改善されています。

昭和49年には54.9%にしかすぎなかった日本の公共用水域の環境基準達成率。これは、約半分の水が環境基準に達していなかったことになります。しかし、環境改善が進む日本では公共用水の水質は年々改善され平成13年以降は80%以上の環境基準達成率を維持できるようになっています。つまり、水道のもとになる取水地の水はおおむね高い環境基準をクリアしているのです。



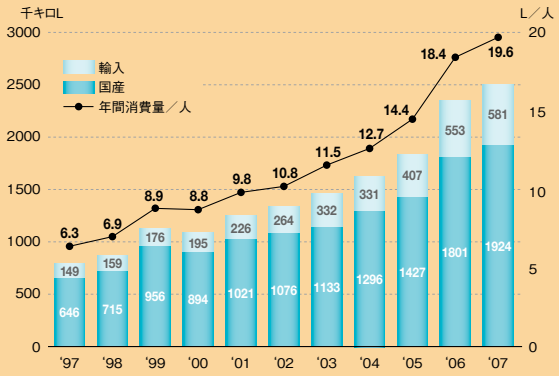
出典：平成19年公共用水域水質測定結果(環境省 水・大気環境局)



それでも、ミネラルウォーターの消費量は増え続けています。

日本の水道水は世界的に見て高いレベルにあり安全性についても問題ありません。その一方、ビルやマンションなどの集合住宅の増加など、水道水を取り巻く環境は年々変化しています。ミネラルウォーターの消費量が増加し続けていることから、このような環境変化にともない消費者の水に対する意識が高まってきているということが伺えます。

■ 国民1人あたりのミネラルウォーター年間消費量推移



出典：日本ミネラルウォーター協会統計データ

貯水槽や水道管の汚れ

日本の水道の安全性は極めて高いものですが、私たちの暮らす住居内まで良質な環境が整えられているとは限りません。たとえばビルやマンションの受水槽や給水槽では、管理不良による汚染や異物混入が問題になっています。揚水管や給水管の老朽化による鉄サビの発生（金気・赤水・白濁）などは水をまずくする原因です。水道管の老巧化や貯水槽の汚れなどから生じる有機物と水道水に含まれている塩素が結合する事によって、トリハロメタンをはじめとする化学物質が発生してしまう状況も問題視されています。

家庭に届く水道水には、安全のために塩素が加えられています。

水道水として川や湖沼の水を使うためには、微生物汚染を防ぐための消毒が必要です。そのため殺菌力が強い上に、人体に害が少なく、しかも残留効果の高い消毒剤として塩素が用いられています。この塩素は家庭の水道水中に1Lあたり0.1mg以上残っていなければならないと法律で定められています。これは水が家庭に届くまで安全なものでなければならないという配慮からです。しかし、原水にアンモニアなどの有機物が残っていると、これと塩素が反応してカルキ臭を感じさせることがわかっています。そこで使用する直前に、水道水から塩素や有機物を取り除くために家庭用浄水器はつくられました。

水に関するデータいろいろ 1

水道水&ミネラルウォーター

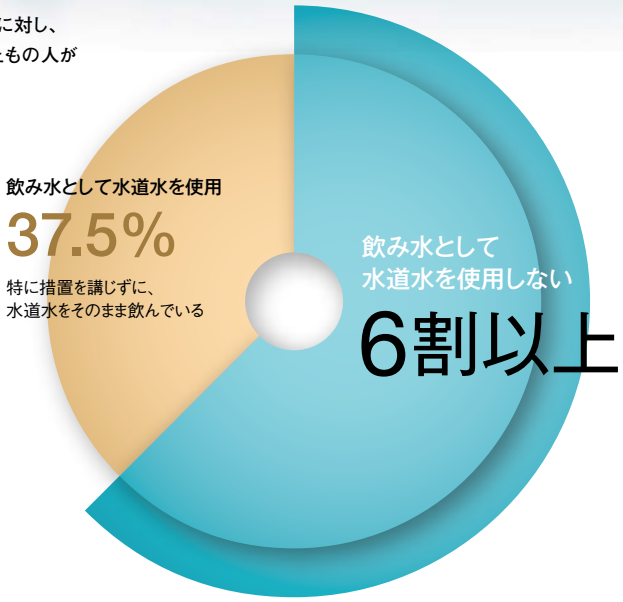
ふだん皆さんが身近に活用している水道水、
近年消費量が増え続けるミネラルウォーター。
身近な水について、いろいろな方からご意見をいただきました。

DATA 1

すでに6割を超える人が飲み水として水道水を使っていません。

2002年実施のアンケート結果によると、
当時は3割程度の人たちが水道水を飲まなかったのに対し、
2008年の内閣府調査では過半数を超えて6割以上もの人が
水道水を飲まないという結果がでました。
水を選ぶ暮らし方が、ますます一般的に
なって来ていることがわかります。

● 飲用水として飲む水



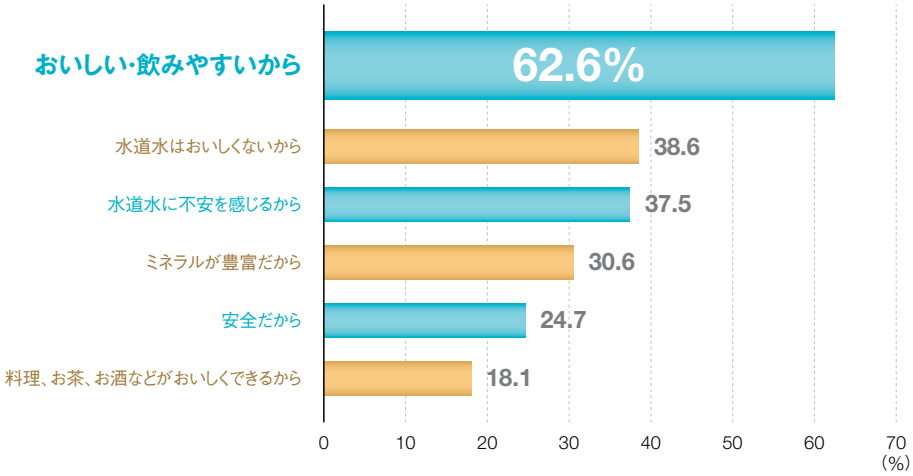
（複数回答）
出典：平成20年 水に関する世論調査（内閣府）

DATA 2

ミネラルウォーターを選ぶ、その理由の1位は「おいしさ」。

消費量が年々増加しているミネラルウォーター。購入の最大の理由は「おいしさ」でした。
単純に安全な水では満足しないで、よりおいしい水への関心が高いことがはっきりわかります。

● ミネラルウォーターの購入理由　出典：2008年DIMSDRIVE公開調査

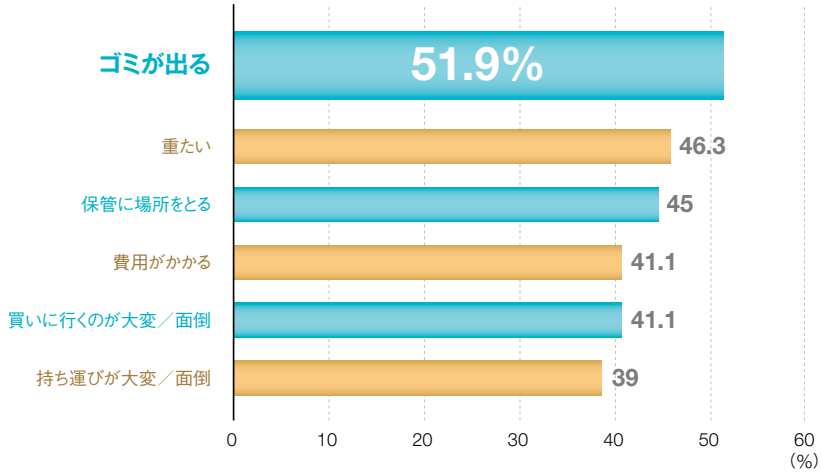


DATA 3

買うのも捨てるのも大変、しかも値段も気になる。

ボトルで販売されることの多いミネラルウォーターは、どうしてもいろいろな手間がかかってしまいます。
おいしさには満足だけれど、「もっと手軽にならないかな」が正直な感想です。

● ミネラルウォーターに対する不満点　※自社調査（2009年WEB調査：対象者231名）



水に関するデータいろいろ 2

浄水器

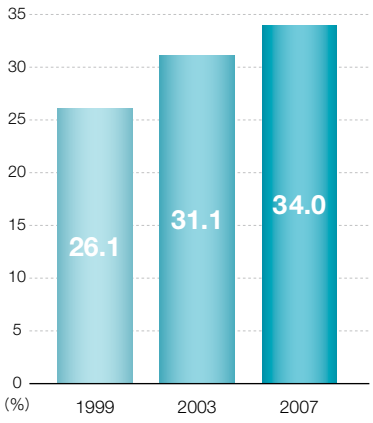
水に関する関心が高まるなか、
浄水器を使用する家庭も増え続けています。
ユーザーの視点、購入のポイントを調査しました。

DATA 1

全国の3軒に1軒は、すでに浄水器を使っています。

日本の水は世界でも屈指の安全性とおいしさを有していることは多くの人が知っているはず。それでも、浄水器の普及は近年も進み続けています。水のおいしい国の人間だからこそ、おいしい水にさらにこだわりたいということかもしれません。

● 浄水器の普及率推移



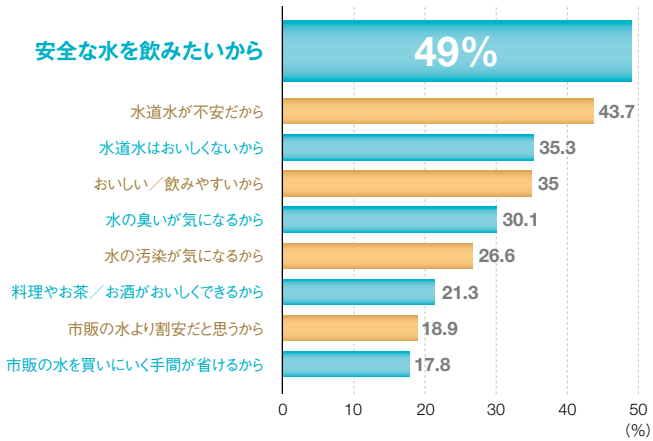
出典：2007年浄水器普及率調査（日本浄水器協会）

DATA 2

浄水器を使用する理由、一番は「安全」です。

浄水器を使われている方の大部分が、まず「安全性」を使用理由の一番にあげます。続いて味に関する関心が高いという調査データ。おいしさで選ぶのはミネラルウォーター、安全性なら浄水器、というイメージが依然あることがわかります。安全で、しかもおいしい水を提供する浄水器が求められているのです。

● 浄水器の使用理由



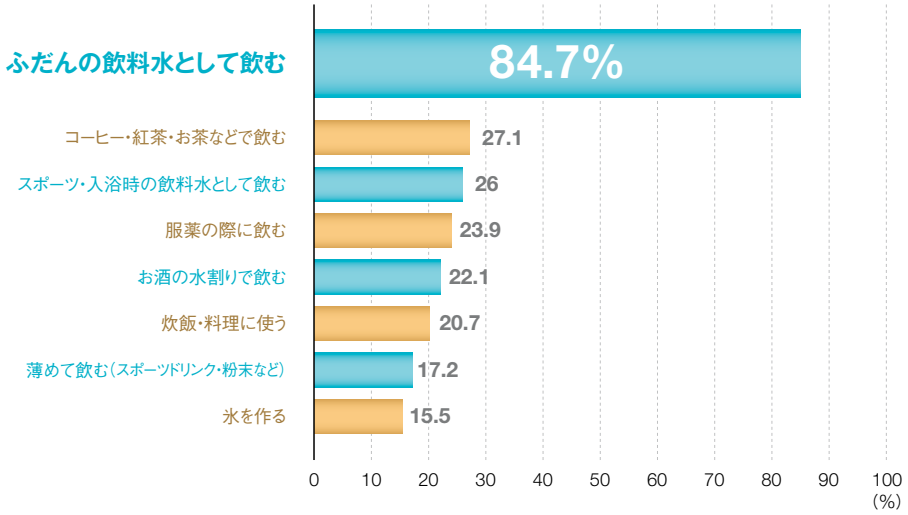
※自社調査（2009年WEB調査：対象者286名）

DATA 3

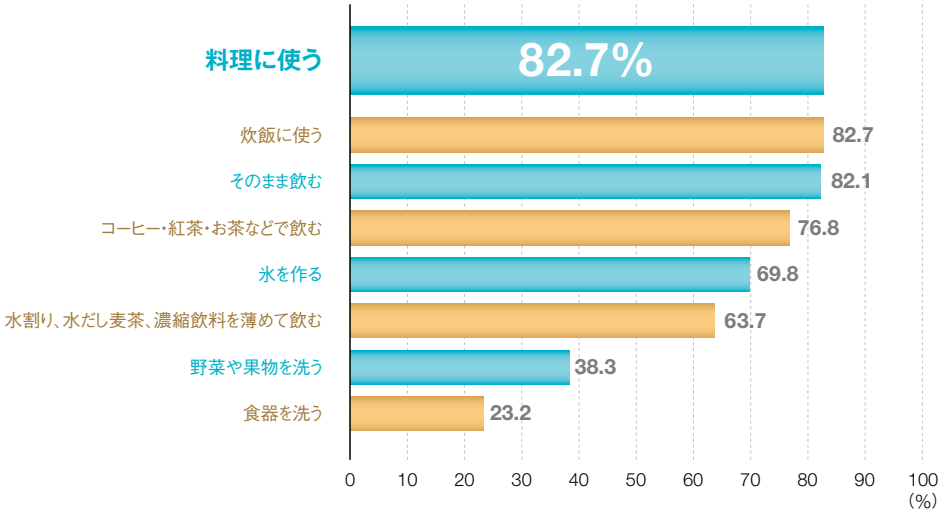
ミネラルウォーター派は、飲料としてが中心。
浄水器派は、いろんな場面で安心でおいしい水を使います。

当然ですが、ミネラルウォーターはどうしてもコストが高い。だからこそほとんどの人が、飲料として飲むことがその使用目的です。対して浄水器使用者は飲料として飲むことはもちろん調理や炊飯など多様な場面で活用しています。からだに取り入れる水を、飲料だけでなく食事から得る水分にも気を配ることができる。浄水器使用のメリットは、手軽に安心な水を使えることなのです。

● ミネラルウォーターの用途　出典：2008年DIMSDRIVE公開調査



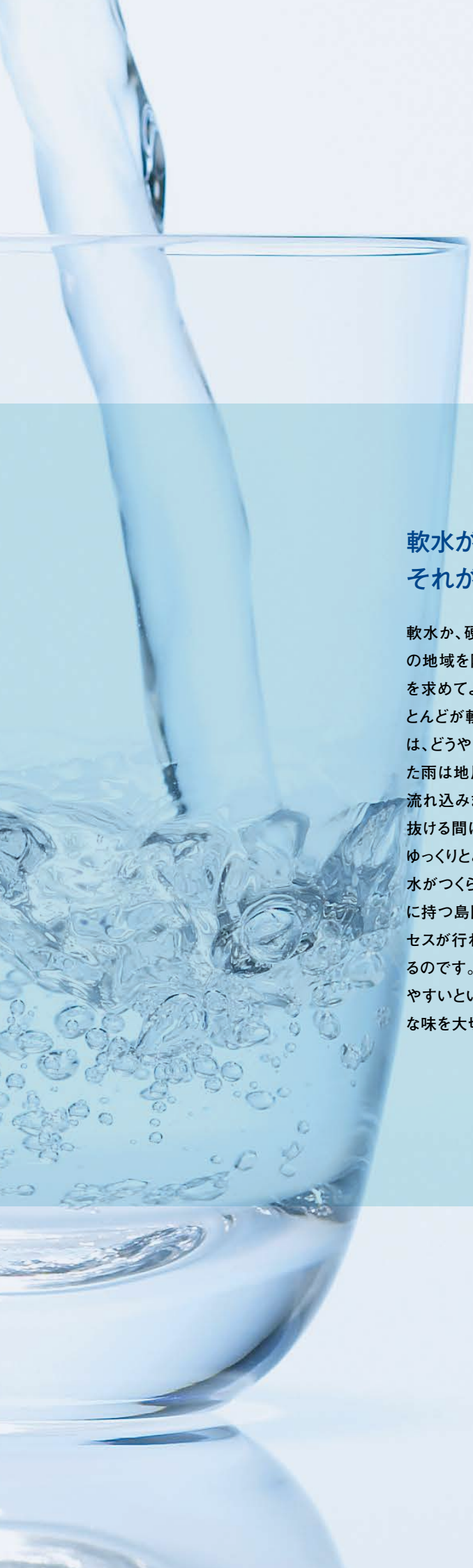
● 浄水器の水の用途　出典：2007年浄水器普及率調査（日本浄水器協会）



日本人がおいしく感じる水は、硬度10～100mg/L※の軟らかな水。ミネラルの含有量が、決め手です。

栄養素として健康を保つために必要なミネラル。
近年、その大切さはよく知られるようになりました。
水の硬度を決めるカルシウムやマグネシウムの量が、
水の味に影響を与えています。

※厚生省（現厚生労働省）「おいしい水研究報告書」1985年発表による



軟水が好まれるのは、
それが私たちにとって身近な水だから。

軟水か、硬水か。水の味を表すときによく聞く言葉です。日本の水は一部の地域を除いて、硬度が100mg/L以下の軟水です。近年、「おいしさ」を求めてよく飲まれているミネラルウォーターの銘柄についても、そのほとんどが軟水に区分けをされています。日本人の軟水好み。この傾向には、どうやら日本の地形的な要因が関係しているようです。山間部に降った雨は地層にしみこみ長い歳月をかけて濾過され湧きだし、やがて川に流れ込みます。そこには、膨大な時間がかかっています。水が地中を通り抜ける間にミネラルが溶け込みます。広大な土地を持つ大陸の国では、ゆっくりとこのプロセスが行われるため多くのミネラルを含む硬度の高い水がつくられると言われています。ご存じのとおり日本は高い山を中央部に持つ島国です。比較的短い期間（といっても数百年以上）で、このプロセスが行われます。そのため多くの水が硬度100mg/L以下の軟水になるのです。また、一般的に軟水はグルタミン酸などのうまみ成分を抽出しやすいという特徴を持っています。この特徴から、日本料理のような繊細な味を大切にする独自の食文化が発展してきたのではないでしょうか。

安全な日本の水を、もっとおいしく。ミネラルが重要な役割を果たしています。

おいしい水とは、ミネラル、硬度、炭酸ガス、酸素などを
適度に備えた水のことを指します。
これらの成分を含まない水は、飲んでもおいしいとは感じられません。
適当な物質が適度に含まれていることが
おいしい水の条件なのです。

おいしい水の要件とは。

厚生省（現厚生労働省）の「おいしい水研究会」では安全でおいしい水をテーマに水道水質基準を検討し、おいしい水の要件を発表しました。私たちが安全で、なおかつおいしい水を飲むためには、これらの要件を理解し、少しでも近づける努力をする必要があるのかもしれません。

おいしい水の要件

水質項目	水質項目
蒸発残留物	30～200mg/L
硬度	10～100mg/L
遊離炭酸	3～30mg/L
過マンガン酸カリウム消費量	3mg/L※1
臭気度	3以下※2
残留塩素	0.4mg/L以下※3
水温	最高20℃

※1　過マンガン酸カリウム消費量の値は水質汚濁に伴って水道水中に含まれる有機物質量を表す指標として用いた。
※2　通常の人が異臭味を感じない水準である。
※3　通常の人が塩素臭を気にならない濃度である。
出典：厚生省（現厚生労働省）「おいしい水研究会報告書」1985年発表による

水をおいしくする要素/成分

ミネラル

カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウム、鉄など水中に溶けている鉱物質。水にコクとまろやかさを与えますが、量が多すぎると苦味、渋味が増します。

水温

水温も水をおいしくする大切な要素です。おいしい水を飲むには10～15℃の水温が最適な温度であると言われています。

酸素

水に清涼感を与えます。酸素がまったく含まれない水は、硫化水素などを含むことがあり、味が悪くなります。

硬度

カルシウム、マグネシウムの量を炭酸カルシウムの量に換算したもの。硬度の低い水はくせがなく、硬度が高い水は好き嫌いがでます。一般的に水の硬度は10～100mg/Lが最もおいしいとされています。

遊離炭酸

炭酸ガスのことで、湧き水や地下水などに多く含みます。水にフレッシュな飲み口とさわやかさを与えます。量が多すぎると逆に強い刺激となってしまいます。

水の味

水のおいしさに関係する硬度は、水の中に含まれるカルシウムとマグネシウムの量を炭酸カルシウムの量に換算したもの。一般的にヨーロッパなどの水は硬度が高い水（硬水）が多く、日本のほとんどの水はあまり硬度が高くない水（軟水）です。日本人にとっては1Lあたり10～100mgの硬度の水がおいしく感じられ、日本のほとんどの地域の水道水がこれに当てはまります。しかしながら、浄水の仕方によってはミネラルが除去されてしまい、おいしさを感じられなくなることがあるのです。

水の臭い

水道水の臭いで、いちばん多くあげられるのが塩素の臭い。いわゆるカルキ臭です。水道水の中の消毒用の塩素と原水の有機物が反応して生まれます。取水地の水の汚れがひどければ、浄水場で多くの塩素を使わなければならず、臭いも強くなります。同じ川の水を使っていても、下流の町より上流の町の水道水がおいしく感じるのは、下流の方が多くの塩素を使って消毒しなければならないからかもしれません。そのほか、水道管の老朽化や受水槽・給水槽の問題から鉄サビやカビが混ざり、いやな臭いが発生する原因になります。

安心でおいしい水は、暮らしのさまざまな場面で活躍します。

たっぷりと飲めて、しかもおいしい水は暮らしのさまざまな場面で役立ってくれます。
自分と家族のために、クオリティの高い水を選ぶ。
生活の基本にある水を変えると、毎日も生まれ変わります。

おいしい水 × 健康

寝ている間にかく汗は、コップ3杯分になるといわれています。汗によって体外に出た水分の多くは、血液中から失われたもの。血液は8割が水分であり、汗をかくことで血液中の水分が少なくなると、その粘性が高まっていわゆる「ドロドロ血」の状態になってしまいます。寝る前と寝起きに水分を摂るのは、血液中の水分量をなるべく一定量に保つために大切なことなのです。特に、朝は水分が不足した状態になっているため、初めに飲んだ水は効率よくどんどん吸収され、血液や細胞に取り込まれます。だからこそ、朝いちばんに飲む水はできるだけ不純物のない安心なものを選んでほしいのです。毎朝寝起きに、まずコップ1杯の安心の水。健康のためのカラダにやさしい習慣も、不純物が少なくておいしい水があれば、きっと続けやすくなるはずです。

おいしい水 × 料理

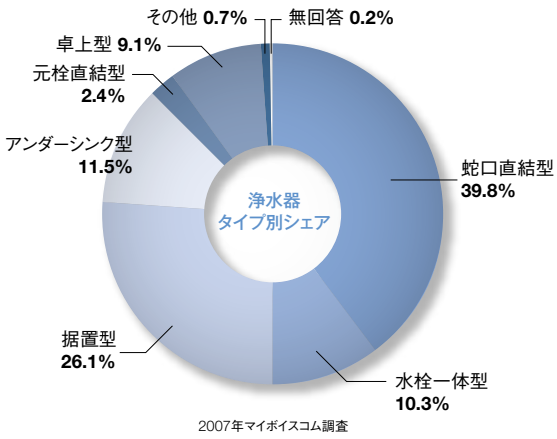
料亭やレストランが、調理に使う水にもこだわっていることはよく耳にします。料理と水の関係は意外に大きなもの。超軟水に分類される硬度が50mg/L未満の水は、口当たりが滑らかで飲みやすい清涼感が特長です。実はこの水、緑茶やだしをとるときに最適。素材の味がすぐに水に溶け出すので、時間をかけずに作ることができます。また硬度50～100mg/L未満の軟水も紅茶や炊飯、コーヒーを作るときにちょうどいい水。一方、硬度120mg/L以上の硬水は、カツオや昆布などの繊細なだしを引き出す料理にはあまり適していません。もちろん、硬度ばかりではなく水に不快な味や臭いがあってはせっかくの料理も台無しです。お味噌汁や煮物といった日本ならではの味を生み出してきたのは、日本の水のやわらかなおいしさでした。

おいしい水 × 美容

肌は、ターンオーバーを繰り返すことで生まれ変わります。新陳代謝がうまくいかなくなってターンオーバーが健全に行われなくなると、肌コンディションがダウンして、くすみやシワなどのトラブルを招く原因にもなります。また、細胞内の水分量が減ると、細胞の新陳代謝や栄養成分の吸収、老廃物の排出などの働きが低下してしまいます。十分な水分は肌のターンオーバーを助け、また、お肌の保湿成分であるコラーゲンなど健康的な肌を維持するために必要な成分を補う役割も果たしています。体内の水分は20代をピークに徐々に減っていきます。特に女性は、男性に比べて身体の中に占める脂肪の割合が多い分だけ、水分の量が少ないので、水分減少による影響がより出やすいと言われます。また、美容のために、一日に2Lの水を飲んでいる方も大勢います。

浄水器には、さまざまなタイプがあります。

浄水器のタイプは、取付方法や
使用している技術により次のように分類されます。
eSpring浄水器Ⅱは、据置型と
ビルトイン型（アンダーシンク型）の2タイプを用意。
浄水技術には、圧縮活性炭フィルターと
紫外線ランプの2種類の浄水方式を
組合わせています。



2007年マイボイスコム調査

■浄水器タイプ別による分類

	タイプ	概要	長所	短所
A	蛇口直結型	本体を蛇口に直接取り付けるタイプで、切り換えレバーで浄水と水道水を使い分ける。	ミニサイズなので、場所を取らない。比較的値段が安い。	一般的に活性炭や中空糸膜などの量が少ないので、処理容量はあまり多くない。頻繁にフィルター交換が必要。
B	e 据置型※1	蛇口に取り付けた切り換えバルブを通して、ホースで本体に接続する。	本格的な除去性能の浄水器が、工事などの手間もなく設置できる。また、モニター付きの浄水器であれば、本体の異常やパーツの交換時期などの表示を見逃すこともない。	シンク上に本体を置くスペースが必要。また、価格も蛇口直結型より高価。
C	卓上ポット型	水差しなどの容器とろ過材が一体となったもの。蛇口には、取り付けない。	ポットに直接ろ過材がついているので持ち運びができる。	必要に応じて、水道水を入れておく必要がある。ろ過に時間がかかる。
D	e ビルトイン型※1	シンクやシステムキッチンに組み込まれたタイプ。集合住宅などでは設置されている所も多い。	蛇口に取り付ける必要がないので、蛇口がすっきりと使える。シンク上に本体を置く場所も不要。	取付の際、工事が必要。また他のタイプと比べて設置費用も高くなる。

※1　eSpring浄水器ⅡはBタイプとDタイプを購入前に選べます。

■技術による分類

	タイプ	概要	長所	短所
A	粒状活性炭	活性炭の吸着保持作用により、汚染物質を除去する。	塩素、有機化学物質を除去する。ミネラルは残す。	無機化学物質、バクテリア、ウイルスは除去しない。長い時間滞留すると塩素が除去された水はその殺菌作用がなくなるので、雑菌が繁殖しやすくなる。またバイパス(水路)ができやすい。
B	銀活性炭	活性炭に殺菌作用を持つ銀をコーティングしたもの。	ある種の有害なバクテリアには若干効果がある(銀イオンの溶出による殺菌ないしは制菌効果)。	銀をまぶしたことで活性炭の性能が落ち、塩素の吸着力が弱まる。人体に影響のない程度に銀が水に溶け出すこともある。ウイルスに対しては効果的でない。
C	圧縮活性炭※2 e	粉砕した活性炭を特殊製法で圧縮成形したもの。	塩素、有機化学物質を除去する。目がより細かいので、小さな物質も除去しやすくなっている。また、同量の粒状活性炭と比較して、水との接触面積が広い。	基本的には、Aの粒状活性炭と同じ。ただし、バイパス(水路)はできにくい。
D	中空糸膜 (超マイクロフィルター)	表面にマイクロメーター単位の微細な穴を多数持った中が空洞のハイテク繊維(多孔質中空糸膜)を数千本束ねてフィルターにしたもの。	約0.1マイクロメーター以上の不純物すなわち雑菌や分子の大きい有機物、カビ、赤サビ、濁りなどを除去する。	有機・無機化学物質やウイルスの除去には効果的でない。目詰まりが起こりやすく、比較的短期間でフィルターを交換しなければならない。
E	逆浸透膜	水圧によって水を薄い膜に通して不純物を除去するもの。	無機化学物質を除去できる。有機化学物質の除去も可能。	ミネラルまでも除去してしまうので、味もそっけない純水になってしまう。ろ過に時間がかかるうえ水を無駄に使う。高価である。
F	セラミック	陶器にあいている細かい孔を利用して、水の中の不純物を除去する。	粒子の削減に効果的。短期間ならバクテリアを除去する。洗浄すれば再利用もできる。	定期的に洗浄し滅菌しなければならない。分子の小さい有機・無機化学物質やウイルスの除去には効果がない。
G	紫外線(UV)※2 e	水に特定の波長の紫外線を照射する。	バクテリア、ウイルスなどを不活性化。目詰まりがない。	有機・無機化学物質の除去には効果がない。

※2　eSpring浄水器Ⅱは、C+Gの組み合わせ。圧縮活性炭フィルターの機能を十分に生かし、さらに紫外線ランプを組み合わせる浄水システムを採用したことで、より効果的に水を浄水します。

なぜeSpring浄水器Ⅱは中空糸膜方式を採用しなかったのでしょう。

中空糸膜は日本の浄水器市場では活性炭と組み合わせてもっともよく使われている浄水方式。しかし、中空糸膜の構造上※3 0.1マイクロメーター以下のウィルス除去には効果的ではない可能性があることと、目詰まりがおこりやすく、比較的短期間で交換が必要になるなどの理由から、eSpring浄水器Ⅱでは圧縮活性炭フィルターと紫外線ランプの浄水システムを使用しています。

※3　中空糸膜とは、直径200～300マイクロメーターの中が空洞になっている糸状の繊維で壁面に0.1～0.01マイクロメーターの穴が無数に空いているろ過膜をさします。

eSpring

2

製品情報

2-1 開発コンセプト …… 30
2-2 製品構造 …… 32
2-3 圧縮活性炭技術／紫外線ランプ技術 …… 34
2-4 第三者機関による認証 …… 36
2-5 味覚試験結果 …… 38
2-6 浄水能力 …… 40
2-7 本体とモニター …… 42
2-8 メンテナンス …… 44
2-9 ランニングコスト …… 46
2-10 よくあるご質問 …… 48

140以上の不純物を
効果的に除去しながら、
ミネラル分を残す。
それが、eSpring浄水器Ⅱです。

エクセレントとエレクトロニクスの頭文字「e」と

泉や源の意味を持つ「spring」を組み合わせてeSpring。

このネーミングを受け継いだⅡにも、

「水のクオリティ」への強いこだわりが込められています。

耐久消費財 研究開発部ディレクター

理学博士　ロイ・キーネン

アムウェイが日本の浄水器市場で第1号の製品「アムウェイ浄水器」を発売したのは1994年のことです。その後、その開発ノウハウをさらに進め細部にわたり最新のテクノロジーを搭載した次世代機「eSpring浄水器」を2000年に発売。私たちが暮らしの原点「水」に着目して、基礎開発をはじめてからすでに四半世紀以上の歳月が過ぎました。日本の水を安心して飲めるおいしい水にしたい、という揺るぎないテーマのもとに開発された製品は日本のマーケットにも受入れられ、競合製品が登場し続けるなかで確固たるポジションを築いてきました。そして2009年、この「eSpring浄水器」の高い浄水性能に加えて、電子部品を上部に集中させた防水設計を追求したことにより、さらなる信頼性が世界39カ国で証明された「eSpring浄水器Ⅱ」の発売となりました。自慢の省エネ性能をさらに46%※1向上させ、プラスチック使用量も50%※2削減。従来品に比べて環境に配慮した設計を実現しました。大きく変更された一体型カートリッジにより、1年、あるいは5,000L浄水後の定期的なパーツ交換がより簡単になりました。ハイクオリティな浄水器にはさまざまな性能が要求されますが、私たちの浄水器開発の根幹には「安心で、しかもおいしい水を生み出す」という、もっともベーシックな機能に対する徹底的なこだわりがあります。140以上もの物質を効果的に除去する圧縮活性炭フィルターと、ウイルスや細菌の不活性化までを行う紫外線ランプ。その浄水性能の高さにも関わらず、水に含まれているミネラル分を残せるこの浄水システムにこそ、アムウェイの先端技術が凝縮されています。私たち開発スタッフは人間にとって欠かすことの出来ないミネラル分を取り除かずに、不要なものだけを除去することを追求し続けてきました。ただクリーンな水をつくりだすだけではなく、水本来が持つおいしさの要因であるミネラルは失わない技術。米国をはじめとする各国で特許を取得し、さらに国際的な認定機関の基準をクリア。「eSpring浄水器Ⅱ」は、これからの浄水器のあるべき姿であると信じています。「eSpring浄水器Ⅱ」の水のおいしさをぜひ体感してみてください。

※1　1日約13L浄水を使った場合の1ヶ月の消費電力を従来のeSpring浄水器と比較
※2　10年間使用した場合

2010年1月 eSpring浄水器Ⅱが
米国プラスチック技術者協会より
「2010年環境賞」を授与されました。

「eSpring浄水器Ⅱ」は、旧製品（「eSpring浄水器」）に比べ高い浄水性能はそのままに、電力消費量を約46%削減、また、カートリッジに使用しているプラスチックを50%以上もカットしました。このことが、第三者機関（米国プラスチック技術者協会）より評価されました。

eSpring浄水器Ⅱの浄水システム

有機物の除去や細菌の不活性化のために、3段階の浄水システムを採用。

**eSpring浄水器Ⅱには独自の3段階の浄水システムが使われています。
これは水道水に含まれているさまざまな不純物や細菌をその大きさや特性に合わせて
効果的に除去したり、不活性化させるために生み出された方式です。**

この入念さが、水のクオリティに差をつけます。

水の中に含まれる不要な物質を効果的に除去する「圧縮活性炭フィルター」に、
気になるウィルスや細菌を不活性化する「紫外線ランプ」を組み合わせたアムウェイ独自の浄水システム。
おいしく清らかな水本来の質を、ご家庭で手軽に実現します。

eSpring テクノロジー

圧縮活性炭フィルターと紫外線ランプが、便利な一体型カートリッジに。

アムウェイ独自の「圧縮型活性炭フィルター ＋ 紫外線ランプ」の浄水技術を一体型カートリッジに凝縮しました。一体型カートリッジの採用により、定期的なパーツ交換がさらに簡単になりました。

IN
［原水］

treatment 1

不織布プレフィルター

eSpring浄水器Ⅱの中に送り込まれた水道水は、まず一体型カートリッジのいちばん外側にセットされている2層の不織布プレフィルターでろ過されます。水道水に混入する物質のうち5マイクロメーター※1以上の比較的大きな粒子（藻や水道管、貯水槽の鉄サビなど）を効果的に除去します。大きな粒子の不純物を取り除くことで、つぎのステップの活性炭の目詰まりなどを防いで高い除去能力を維持させる役目を果たします。

水道水に混じる 藻 や 赤サビ などを効果的に除去※2

treatment 2

圧縮活性炭フィルター

eSpring浄水器Ⅱは、一般的な浄水器の多くが使用している粒状活性炭ではなく、アムウェイ独自の「圧縮活性炭」を採用しています。粒子が非常に細かく、同サイズの活性炭フィルターと比べて多くの活性炭を使用できるメリットがあります。この圧縮活性炭フィルターは、0.2マイクロメーター以上の微粒子を物理的に取り除き、塩素やトリハロメタンなどの有機化学物質は吸着して効果的に除去します。水のおいしさの元となるミネラル分は残しながら、しっかり浄水できるのです。

水に溶けている 塩素 や 有機物 などを効果的に除去※2

treatment 3

紫外線ランプ

圧縮活性炭フィルターを通った水が紫外線ランプに入水すると、2本のチューブから強力な紫外線照射を約1秒間受けるように設計されています。これにより、圧縮活性炭フィルターで除去しきれない微粒子のカビ、バクテリア、ウイルス、細菌などの微生物を99.99%不活性化して、より安心な水を作ります。

圧縮活性炭で取り除けない カビ や ウイルス などを不活性化※2

※1　1マイクロメーターは1mmの1／1000　　※2　詳細データはP58-59参照

OUT
［浄水］

圧縮活性炭フィルター／紫外線ランプ

3段階の浄水システムを一体型カートリッジにした浄水器開発技術の結晶です。

圧縮活性炭フィルター　140種類以上※1の物質を効果的に除去

ミネラル分を残しながら不要な物質だけを効果的に除去するアムウェイ独自の圧縮活性炭フィルター。
2層の不織布プレフィルターとともに3層構造で0.2マイクロメーターまでの微粒子や、
水に溶けている塩素や有機化学物質を吸着により効果的に除去します。

※1　自社テストによる。詳しくは「テクニカル・インフォメーション」P58-59ページをご覧ください。

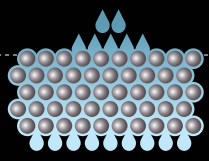
アムウェイ独自の「圧縮活性炭」とは。

活性炭とは、無数の小さな孔を持ち、気体や液体に含まれる物質を吸着する力が強い炭で、これまでの浄水器には
多く使われていました。それをさらに細かく粉砕し、特殊なバインダー（結合剤）を加えて加熱しながら押し固めたのが、圧縮活性炭です。

一般的な粒状活性炭との違い

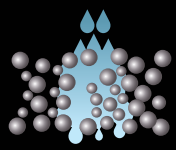
eSpring浄水器Ⅱの圧縮活性炭

水の抜け道（バイパス）ができにくく、すべての活性炭にまんべんなく水が接触し、浄水効果が高く、しかもその効果が持続します。



他社浄水器に多く使われている粒状活性炭

水の抜け道（バイパス）ができやすいため、活性炭に接触しない水が流れたり、同じ活性炭ばかりが使われ、浄水効果が短期間しかもたない可能性があります。



eSpring テクノロジー

活性炭をコンパクトに押し固め、広い表面積で水をろ過。

水をきれいにろ過する過程で大切なポイントとなるのは、より多くの活性炭の表面に触れさせながら水を通過させること。圧縮活性炭は粒子が非常に細かく、コンパクトなフィルターサイズの中でより多くの活性炭を使用できるメリットがあります。この独自の技術によりeSpring浄水器Ⅱのフィルター1個当たりの活性炭の表面積は一般的な粒状活性炭に比べて大幅に拡大しています。

紫外線ランプ　細菌を99.99%不活性化

紫外線には細菌などを不活性化する能力があります。しかも、薬品などによる消毒にはないさまざまな利点をも備えています。
たとえば固体にも液体にも利用でき、照射するだけなので消毒副生成物が発生しにくいことや、
比較的短時間でほとんどの菌を常温で不活性化できることです。
この優れた紫外線による浄水技術を、私たちは四半世紀以上も前から追求しています。

紫外線の照射でウイルスなどの微生物を不活性化。

紫外線ランプは、微生物の不活性化効果が非常に高い波長の紫外線（254nm※2）と照射強度（70,000μw−sec/㎠）を組み合わせ、効果を最大限に発揮する設計になっています。未使用時にはOFFの状態になっている紫外線ランプは、浄水時に自動的に点灯され瞬時に強い照射力を発揮するように設計されているのです。この紫外線ランプの強い照射で、ウイルスなどの微生物をしっかり不活性化します。

※2　nm（ナノメーター）：長さの単位で1nmは1mmの1／1,000,000、1マイクロメーターの1／1,000。
（注）　浄水モードを4時間以上使用しなかった場合は、使用前に30秒間浄水を放流してください。

■ 試験方法

実施要項	米国環境保護庁指導基準および微生物学的浄水器試験のための実施要項（1987年タスクフォースレポート）に基づき大腸菌ファージMS-2を使用して自社試験（Amway Analytical Services）を実施。
使用した紫外線ランプ	12カ月後の性能を想定した初期照射強度の70%に調整。
最大通水量	6,000L（定格寿命の120%）
初期流量	3.8L/分
測定時	試験開始時、2,000L通水時、4,000L通水時、6,000L通水時
試験概要	◎各測定時に適度な濃度の微生物（大腸菌ファージMS-2）を含む水を30Lずつ試験。 ◎各測定時の流入水と流出水を採取し、対象となる微生物（大腸菌ファージMS-2）にとって標準的な方法で分析。
試験結果	バクテリア、ウイルス、原生動物などの微生物の活動を99.99%不活性化した。

eSpring テクノロジー

非接触電磁誘導技術の（ eCoupled™ technology* ）採用により、紫外線ランプの交換が簡単に。

eSpring浄水器Ⅱの紫外線ランプの点灯用電源は、ケーブルやコネクターを使用しないで安全に電力を供給できる、電磁誘導技術を応用した非接触方式を従来品のeSpring浄水器から受け継いでいます。本体と紫外線ランプの電気的接点がないことで、本体への接続がシンプルになりメンテナンスもスムーズに行なうことができます。

★ eSpring浄水器Ⅱ開発後にトレードマークを取得。

第三者機関による認証

優れた性能を客観的に評価するため、国際規格の認定を受けています。

**アメリカ本土をはじめヨーロッパ、アジア、オーストラリアなど各国で愛用されている
eSpring浄水器Ⅱにとって、日本は40番目の販売国です。
eSpring浄水器Ⅱはその性能をより客観的にお客さまに判断いただくため
第三者機関の基準を自らの性能評価の目安として採用しています。**

NSFインターナショナルの国際認証を 3つの規格において適合している浄水器です。

eSpring浄水器Ⅱは下記の3つの項目に適合しています。

※NSFインターナショナルについてのより詳細な情報は、P55～をご覧ください。

感覚的要因の除去性能基準（No.42）

① 味、臭い及び塩素の除去基準
② 微粒子の除去基準

eSpring浄水器Ⅱは①②ともに最高レベルのクラスI※1にランクされ、残留塩素を98%以上除去し
0.2マイクロメーター以上の微粒子を99%以上除去する能力が認められています。

健康に影響を与える要因の除去性能基準（No.53）

① 各種の有機･無機化学物質の除去基準
② トリハロメタン類を含む揮発性有機化合物の除去基準
③ 懸濁固形物（胞子、濁度、アスベストなど）の除去基準

その他、揮発性有機化合物（VOC）の除去基準以上に適合しています。

紫外線による微生物抑制基準（No.55）

eSpring浄水器Ⅱは、公共水道の補助殺菌装置（クラスB）※2の基準（家庭用浄水器の紫外線（UV）装置の基準）に
適合しており、いろいろな微生物やウィルスを99.99%の高い確率で不活性化させます。

※1 クラスIは基準No.42において、微粒子および味、臭い、塩素に関するランクの中で最も高いランクであり、効果の高さを示します。微粒子に関しては、クラスIからクラスⅥまでのランクがあり、また味、臭い、塩素に関してはクラスIからクラスⅢまでのランクがあります。
※2 家庭用浄水器はクラスBに分類され、業務用浄水器はクラスAに分類されています。
（注） その他、NSFインターナショナルの浄水器に関する基準には（No.44）軟水化装置についての基準、（No.58）逆浸透式浄水器についての基準、（No.62）蒸留式浄水器についての基準がありますがeSpring浄水器Ⅱはこの基準には該当しない為、認定は受けていません。

WQA（Water Quality Association） ゴールドシール認定を取得。

米国浄水器市場の歴史ある第三者機関の
Water Quality Association（水質協会）では、消費者がクオリティの
高い浄水器を選ぶことができるよう、さまざまな認定機関による厳しい試験のもと、
ある一定の基準に適合した浄水器のみにゴールドシールを付与しています。
現在、WQAゴールドシールは米国の飲用浄水器市場において
信頼性のある認証マークのひとつとして広く認識されています。

「家庭用品品質表示法」の規定に基づき表示される浄水能力には粒子やアスベストに対する基準はありません。

現在日本で販売されている浄水器は、「家庭用品品質表示法」に基づく浄水器の「品質表示」が義務づけられています。浄水能力は、JIS（日本工業規格）で定められた試験を実施し、遊離残留塩素、総トリハロメタンほか、13項目の除去対象物質についてのみ、除去率80%になるまでの総ろ過水量を、指定された形式で表示しています。また、JWWA（日本水道協会）が水道事業を行なう立場から独自に作成している浄水器規格（JWWA S102）では、残留塩素と濁りの除去率、およびろ過能力等について認証を行なっておりますが、家庭用品品質表示法で表示が義務付けられている浄水能力と同様に、粒子やアスベスト、胞子などに対する基準は設けられておりません。そのためeSpring浄水器Ⅱは、さらにより多くの基準をもつNSFインターナショナルの基準を客観的な評価として採用しています。

項　目	除去能力			
	JWWA	NSFインターナショナル	家庭用品品質表示法	eSpring浄水器Ⅱ
塩　素 （味と臭気）	80%以上除去	75%以上除去	80%除去になるまでの総ろ過水量を表示	98%以上除去
粒子	基準なし	直径0.5マイクロメーター以上の粒子の85%以上除去	基準なし	直径0.2マイクロメーター以上の粒子の99%以上除去
アスベスト	基準なし	99%以上除去	基準なし	99%以上除去
胞子 （原生動物）	基準なし	直径4～6マイクロメーター以上の粒子の99.9%以上除去	基準なし	直径4～6マイクロメーター以上の粒子の99.9%以上除去
化学物質 （健康への影響）	基準なし	有機・無機化学物質の67～95%除去（化学物質により除去率異なる）	80%除去になるまでの総ろ過水量を表示	有機・無機化学物質の81.2～99.9%除去（化学物質により除去率異なる）
微生物（バクテリア）構成	浄水の一般細菌数は1㎖あたり100個以下、また大腸菌群は陰性であること。紫外線装置の基準なし。	紫外線照度定格ー16,000μW-sec/㎠以上	基準なし	紫外線照度定格ー70,000μW-sec/㎠バクテリアの他、ウィルス、藻類、カビも効果的に抑制

注）JWWA、NSFインターナショナルの審査基準に定められた試験方法は異なります。また、日本の浄水器は家庭用品品質表示法によって、JIS S 3201により試験を行い、その結果を指定の方法で表示することが規定されています。

味覚試験結果

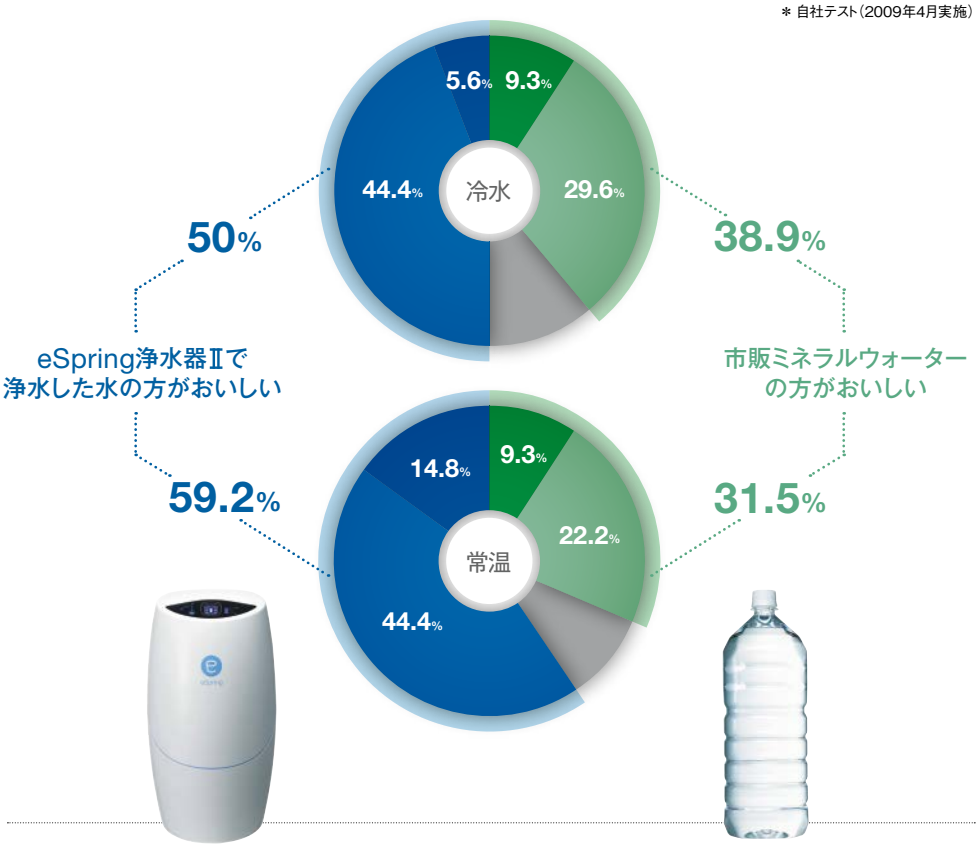
ミネラルウォーターと同等のおいしさを実現する浄水器。

**アムウェイは、安心はもちろんおいしさでも十分に評価される
浄水器の開発を続けてきました。
eSpring浄水器Ⅱで浄水した水と、国内トップシェアのミネラルウォーターとの
味覚試験を行った結果、同等においしいという評価結果が得られました。**

eSpring浄水器Ⅱの水と
市販のミネラルウォーターを比べてみました。

eSpring浄水器Ⅱの水は、市販の代表的なミネラルウォーターとの比較調査*において
同等の高い味覚評価を得ています。

＊ 自社テスト（2009年4月実施）



eSpring™浄水器Ⅱ
全国平均値の水の硬度を有する地域の水道水を浄水

VS

市販ミネラルウォーター
国内トップシェアのミネラルウォーターを使用

- eSpring浄水器Ⅱで浄水した水の方が断然おいしい
- どちらかといえばeSpring浄水器Ⅱで浄水した水の方がおいしい
- どちらともいえない
- 市販ミネラルウォーターの方が断然おいしい
- どちらかといえば市販ミネラルウォーターの方がおいしい

eSpring
テクノロジー

ミネラルを含んだ浄水をおいしく飲むには冷蔵庫で15℃に冷やして。

水をおいしいと感じられるのは、体温よりも20℃程度低い温度だそうです。好みもありますが、おおむね10~20℃の間がおいしい水の温度。東京の都庁付近の水温では、6~9月の暑い季節をのぞいてほぼ水道水の温度でおいしい浄水が飲めます。夏にも、おいしい水を楽しむには、冷蔵庫を使います。冷蔵庫の性能や冷やす水の量によっても違ってきますが、5℃温度を下げるのに、冷蔵室で約30~60分くらいだとか。ミネラルたっぷりのおいしいeSpring浄水器Ⅱの水を、お好みの温度でどうぞ。

浄水能力および除去・低減物質

カートリッジの交換時期まで高い浄水能力をキープし続けます。

おいしい水をつくりだす優れた浄水性能。eSpring浄水器Ⅱは、カートリッジの交換時期まで高い除去性能を長く維持するロングライフ設計です。さまざまな物質の中でも特に除去しにくく、またその除去性能を長く維持することが難しいトリハロメタンもカートリッジ交換時期までしっかり除去します。

除去性能テスト

塩素・味・臭い

現代の水道水は塩素によって処理され、ご家庭へと届けられています。しかし多くの場合、水道水中の塩素は味を落とす原因とも考えられています。その他にも2つの不純物（ジメチルイソボルネオールとジェオスミン＝水源中の藻の発生と関連がある）が水をまずくし、カビ臭さの大きな要因として考えられています。特に藻類が発生する季節には、水の味や臭いに関することが気になります。eSpring浄水器ⅡはNSFインターナショナル基準（クラスI）No.42に基づいて塩素の除去性能テストを行っています。

塩素

藻

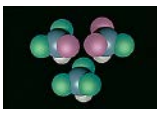
■ 試験方法

残留塩素濃度	2.0ppm
通水量	6,000L（定格寿命の120%）
試験結果	除去率98.9%※1

※1 NSFインターナショナル基準42「味、臭い及び塩素の除去基準」に基づき、自社試験により、塩素濃度2.0ppmの流入水をろ過させ6,000L流水した時点で分析した結果による。

トリハロメタン等の有機化学物質

河川水から水道水を作る際、殺菌用に使われる塩素と有機物が反応してできる物質。クロロホルム、ジブロモクロロメタン、ブロモジクロロメタン、ブロモホルムの4つの物質を総称してトリハロメタンと言います。eSpring浄水器ⅡではNSFインターナショナル基準No.53に基づいてトリハロメタンの除去性能テストを行っています。


有機物（トリハロメタン等）

■ 試験方法

試験用汚染物質	クロロホルム※2
試験用汚染濃度	320ppb
通水量	6,000L（定格寿命の120%）
試験結果	削減率99.4%※3

※2 eSpring浄水器Ⅱのトリハロメタン除去性能テストでは、クロロホルムを試験用のベースライン汚染物質として使用しています。クロロホルムは塩素処理工程の副産物として生成するトリハロメタンのひとつです。浄水器がクロロホルムを十分に削減すれば、その浄水器は水道水中の他のトリハロメタン類（ブロモホルム、ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン）も削減することが一般的な試験の結果から明らかになっています。

※3 eSpring浄水器Ⅱは、流入濃度320ppbで6,000Lの通水を通してトリハロメタンを1.8ppbまで削減しました。これはカートリッジ寿命を通じて99.4%の削減率でトリハロメタンを除去することを示しています。

除去･低減チャート

圧縮活性炭フィルター
不純物質低減チャート

味 / 臭い
- 塩素
- フェノール、ジェオスミン
  ジメチルイソボルネオール

有機化学物質
- 揮発性有機化合物
- トリハロメタン
- 除草剤･殺虫剤
- EPA特定汚染物質
- ダイオキシン

無機化学物質
- 鉛
- ラドンおよびラドン崩壊物
- 水銀

粒子
- サビ
- スケール（水あか）
- 沈殿物
- アスベスト

水系感染寄生虫
- ランブル鞭毛虫
- その他7種の水系感染寄生虫
- クリプトス、ポリジウム、
  パルバム、オーシスト

紫外線ランプ
微生物低減チャート

バクテリア
- 病原細菌
- 従属栄養細菌
- 大腸菌群
  - ●クレブシエラ･テリゲナ

原生動物
- クリプトスポリジウム･
  パルバムオーシスト
- ランブル鞭毛虫

真核生物
- 微胞子虫

ウイルス
- A型肝炎ウイルス
- ポリオウイルス

（注）このチャート図はeSpring浄水器Ⅱで除去または不活性化できる汚染物質やその他の物質を表わしたものであり、必ずしも一般のご家庭の水道水にすべて含まれているとは限りません。

本体（キッチン据置型・ビルトイン型）

さまざまなキッチンのタイプに対応が可能です。

設置方式はキッチン据置型、ビルトイン型の2タイプをご用意。
多くのご家庭のキッチンに対応しています。

キッチン据置型

どんなキッチンにも美しくマッチ。
簡単取り付けの据置タイプ。

キッチントップに映える美しいデザインは、和から洋までさまざまなインテリアに幅広く対応し、どなたにも簡単な作業で取り付けいただけます。また、コンパクト設計の「切り換えバルブ」は耐久性に優れたステンレス製3ボール方式を採用。簡単なレバー操作で、3つのモード（浄水ストレート、原水ストレート、原水シャワー）の使い分けが可能です。

切り換えバルブ

ビルトイン型

キッチンにスペースがないときは、
ビルトイン設置で。

eSpring浄水器Ⅱはビルトイン設置も可能です。取り付け工事※による補助水栓の設置で、本体をシンク下のスペースに収納。キッチンがせまく浄水器を置くスペースが無い場合や、シンクまわりを広く使いたい場合などのニーズに対応します。

※指定給水装置工事事業者による補助水栓を設置する工事が必要です（工事費は別途必要になります）。また、キッチンの仕様や構造によってはビルトイン設置ができない場合もあります。詳しくは相談ホットライン（63ページ参照）にお問い合わせください。

補助水栓

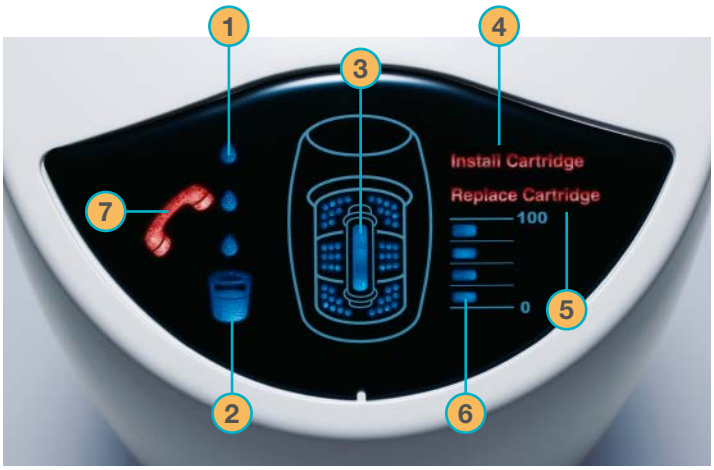
LEDモニター

見やすいアイコン表示で、使用状況をひと目でチェック。

浄水器に電源を入れた段階で本体の各所にある内部センサーとカートリッジに内蔵されたスマートチップの情報を本体のアイコンが自動的に認識し、わかりやすいLEDモニターで状態をお知らせします。

見やすいLEDモニターを搭載。

見やすいアイコン表示により、浄水器の作動状況が一目で分かります。また、カートリッジの交換時期およびエラー時にはアイコンの表示と電子音で知らせてくれるモニター機能によりスムーズなメンテナンスを実現します。



浄水使用時

浄水不使用時

1 水滴 アイコン
浄水の状態を示すアイコンです。
浄水が出ているときに表示されます。
※水滴マークは、上から順に1つずつ点灯します。

2 コップ アイコン
eSpring浄水器Ⅱの状態を示すアイコンです。
本体フタが開いているときや、カートリッジが
正しく装着されていないと赤い表示で知らせます。

3 カートリッジ アイコン
カートリッジの状態を示すアイコンです。
カートリッジの交換時期などを知らせます。

4 インストール アイコン
カートリッジ未設置を示すアイコンです。

5 リプレイス アイコン
カートリッジの交換時期が来たことを示すアイコンです。

6 寿命表示 アイコン
カートリッジの使用状況を示すアイコンです。

7 電話 アイコン
相談ホットラインに連絡をする必要がある場合に
点灯/点滅して知らせます。

eSpring テクノロジー

スマートチップ技術を応用。

カートリッジに使用されているスマートチップは強誘電体メモリと呼ばれ、磁気によって非接触で情報の書き込み・読み取りができるとともに、電源をオフにしても記憶を保持します。この技術の採用によりカートリッジの浄水使用量・使用期間を正確に記憶し、適切な交換時期をモニターでお知らせします。だから、カートリッジを交換するたびにリセットする必要もありません。

交換用カートリッジ

フィルターと紫外線ランプが一体型になって、カートリッジ交換がさらに簡単に。

**浄水性能をしっかりと発揮させるためには、定期的なカートリッジの交換が必要です。
eSpring浄水器Ⅱに採用されているのはフィルターと紫外線ランプの一体型カートリッジ。
1年もしくは5,000Lの浄水使用後に、新しいカートリッジと交換してください。**

交換用カートリッジの寿命

水道水に含まれる消毒塩素からは、化学的副産物としてトリハロメタンが発生する可能性があると言われています。トリハロメタンは、最も除去しにくい物質のひとつ。1年もしくは、5,000L浄水を使用すると圧縮活性炭フィルターの除去性能が低下し、トリハロメタンの除去率が低下します。同様に紫外線ランプも使っているうちに、両端が黒ずんできて紫外線強度が低下します。また1年間使用すると紫外線エネルギーが減少しウイルスなどの不活性化の能力が低下します。常にeSpring浄水器Ⅱの最良の浄水性能をご活用いただけるよう定期的にカートリッジ交換をしてください。

使用後例（約5,900L通水）

※掲載写真はサンプルのため必ずしも茶色くなる事はありません。

切り換えバルブ、ホースの交換もお忘れなく。

eSpring浄水器Ⅱの浄水性能を維持するためには、
浄水の出口である切り換えバルブやホースの交換などのメンテナンスも欠かせません。

■ 各パーツ交換のタイミング

交換用カートリッジ	1年間使用後、または5,000Lの浄水使用後のどちらか早い方
切り換えバルブ、ホース	衛生面から2年に1度の交換をおすすめしています。
交換用カートリッジ保証期間	6カ月

交換部品の取り外し方

交換用カートリッジの取り付け、取り外しはとても簡単。

eSpring浄水器Ⅱの交換用カートリッジは、一体型になって交換がとても簡単になりました。

カートリッジ交換は、水が出ない状態にしてから行ってください。

【　据置型の場合　】　水を止めた状態で、切り換えレバーを浄水モードにして、浄水口から水が出なくなるまで待ちます。

【ビルトイン型の場合】　止水栓を閉めます。補助水栓ハンドルを浄水モードにして、水が出なくなるまで待ちます。
（止水栓がない場合は、補助水栓の浄水を止めた状態で作業を行います）

電源プラグを抜いてください。その後、本体フタと電子装置を取り外し、ホース取り外し工具を取り出します。

ホース取り外し工具を使ってブラケットの可動式リングを押し込みながら、L字型接続部品を引き抜き、ブラケット固定リングを回して外します。

ブラケットのハンドルを引き上げ、カートリッジを取り出します。ブラケットを手で押さえたままカートリッジを回して、引き抜きます。本体内部に残った水を捨てます。

●取り出した際に、カートリッジ下部から水が出ますのでご注意ください。
●使用済みのカートリッジは、お住まいの地方自治体のゴミ分別方法に従って廃棄してください。
●より詳細な交換方法は製品の取扱説明書、またはamwayliveの「ヘルプ」ページをご覧ください。

［ 取り付ける時 ］

❶ ブラケットに新しいカートリッジを取り付ける時は、カートリッジが止まるまでしっかりねじ込みます。
❷ ブラケットを浄水器本体のタブに合わせながら差し込み、ブラケットのハンドルを倒します。
❸ ブラケット固定リングを装着し、L字型接続部品とホースを差し込みます。
水漏れの確認後、電子装置とホース取り外し工具、本体フタを元に戻し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

amwaylive.com　「ヘルプ」ページ（よくある質問）では、カートリッジの交換方法をさらに詳しくご紹介しています。

eSpring テクノロジー

交換時期をうっかり忘れても、LEDモニターがお知らせします。

eSpring浄水器Ⅱは、本体通水量と作動時間を測定します。カートリッジの通水量か作業時間のどちらかでも定格寿命の90%になると、通水時に音と寿命表示アイコンの点滅によってカートリッジ交換時期が近づいていることをお知らせします。また100%になると、リプレイスアイコンが点灯し音とともにお知らせします。

ランニングコスト

安心でおいしい水を、経済的にお使いいただけます。

**据置型のeSpring浄水器Ⅱを10年間使用した場合のランニングコストは、
1L当たり6.79円、1カ月当たり2,824円、1年当たり33,888円。
市販のミネラルウォーターと比較したところ、
eSpring浄水器Ⅱはかなり経済的であることがわかりました。**

eSpring浄水器 Ⅱのランニングコスト

1L当たり 6.79円

1カ月当たり 2,824円

1年当たり 33,888円

■ アムウェイの浄水器のランニングコスト／市販ミネラルウォーターのコスト

	1L当り	1カ月当り	1年当り
eSpring浄水器 Ⅱ※1	**¥6.79**	**¥2,824**	**¥33,888**
eSpring浄水器※1	¥6.79	¥2,872	¥34,460
市販ミネラルウォーター※2	¥66.2	¥27,583	¥331,000

※1　1年間で5,000Lを使用した場合の10年間の平均コストを算出。各浄水器の据置型のDCと10年間使用した場合に必要な交換用カートリッジ（フィルターと紫外線ランプ）、切り換えバルブ、ホースのDCの合計金額に、10年間使用した場合にかかる光熱費・水道料金（2009年2月時点の東京都の料金より）を含めて換算。

※2　2006年度清涼飲料総合調査結果より、1L当りの平均購入費用を換算。1年間に5,000Lのミネラルウォーターを使用した場合の平均コストを算出。

目的に合わせて、
浄水、原水を上手に使い分け。

目的にあわせて浄水と原水を上手に使い分けたり、こまめに止水したりという工夫が浄水器の性能を長持ちさせるポイントです。

意識してますか、
キッチンの水の使い方。

東京でひとりが1日に使う水の量は、約248L。その22%、約55Lは炊事に使われる水です。※1もちろん、いちばん多く使われるのは野菜や食器を洗う水ですが、ご飯を炊いたりお味噌汁や煮物をつくったり、直接体内に取り入れる水も少なくありません。飲む水だけではなく、お料理をする水にもちょっとした気配りを。お米の銘柄にこだわるのだから、それを炊き上げる水の味や臭いにまでこだわりたいものです。

※1 東京都水道局公開資料より

■ 浄水/原水の使い分けの目安

使用目的	浄水	原水
飲料水	●	
お茶・コーヒー	●	
粉ミルク	●	
製氷	●	
調理（ゆでる・蒸す）	●	
野菜洗い	●（溜め洗い）	●（泥落としなど）
食器洗い		●

■ 水の使用量の参考例

お湯を沸かす（やかん使用）	1回 ＝ 約2.5L
電気ポット	1回 ＝ 約2.5L
料理（煮物等）	1回 ＝ 約2.0L
飲み水	コップ4杯分 ＝ 約1.0L
製氷	1回 ＝ 約1.0L
小計＝約9.0L	
野菜洗い	2分間 ＝ 約7.6L
米研ぎ、炊飯	5合/回 ＝ 約6.0L
合計＝約22.6L	

（注）使用状況によって多少異なります。

Q&A

eSpring浄水器Ⅱの素晴らしさを伝えるには、
まず水を知って、製品をよく知ること。
このページでは、水や浄水器一般、
eSpring浄水器Ⅱについて
お問合わせの多い質問事項をご紹介いたします。

水一般について

Q 1 水の硬度とは何ですか?

A 水の硬度とは、水の中に溶けているカルシウムとマグネシウムの量を表したもので、多く含まれているものほど硬度数が高くなります。硬度が低い水を軟水、高い水を硬水といい、一般的に10~100mg/Lの硬度の水がもっともおいしいとされています。

Q 2 アルカリイオン整水器と浄水器はどう違うのですか?

A eSpring浄水器Ⅱは、おいしい水をご家庭にお届けすることを徹底的に追求し、高い浄水性能を備えています。一方、アルカリイオン整水器は水道水に電気を流し、水道水中に溶け込んだ物質を+(プラス)と-(マイナス)の両電極に引き寄せ、イオン誘導でアルカリ性と酸性の2つのイオン水を作り出すものです。したがって、浄水器とは基本的に目的が異なる器具であるといえます。

Q 3 ミネラルウォーターと浄化処理された水の違いは?

A ミネラルウオーターは、湧水などの自然水をボトリングしたもので、日本の場合、その多くが加熱殺菌されています。ヨーロッパなどから輸入されたものは、ほとんどミネラル分が多い硬水です。日本の水道水の多くは軟水ですから、浄水器で浄化処理された水は日本人が飲み慣れた軟水であり、かつフレッシュであることがミネラルウォーターとの違いです。

eSpring浄水器Ⅱについて

Q 1

**カートリッジを交換したところ、
黒い水が出ました。
また、浄水を手で触るとヌルヌルするのですが、大丈夫ですか?**

A 大丈夫です。新しいカートリッジから出る黒い水は、製造過程でフィルター内に残った活性炭の微粒子が原因です。しばらく通水していただけば、徐々に透明になります。活性炭は炭ですから、人体に害ありません。また、フィルターの活性炭は製造過程の処理上、アルカリ性に傾きます。水道水は中性ですが、フィルター内を通ったときに水がアルカリ性に傾き、触るとぬるつく感じがあります。水自体がぬるぬるしているわけではありません。徐々に中性に戻りますので、最初に必ず5分以上通水してからお使いください。それでもまだ気になるようでしたら、さらに5~10分通水してください。

Q 2

**「eSpring浄水器Ⅱ」の水を
水筒に入れて携帯したいと思います。
保存期間はどれくらいですか?**

A ミネラルウォーターのペットボトルなどを開封した後と同じとお考えください。浄水は上水道水に含まれている塩素などを除去していますので、上水道水より保存期間が短くなります。水温や外気温などにも大きく影響を受けますので、できるだけお早めにお飲みいただくことをおすすめします。

Q 3

**「eSpring浄水器Ⅱ用
切り換えバルブ」と「ホース」の
お手入れ方法は?**

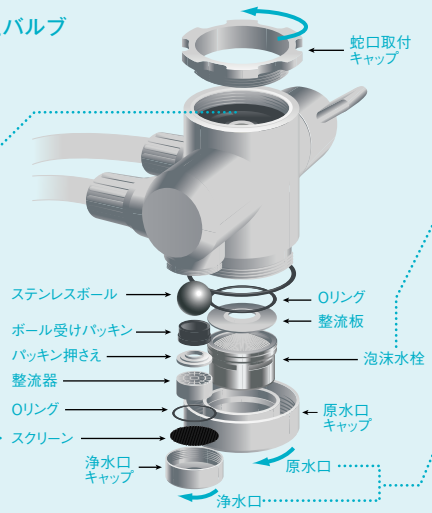
A 切り換えバルブは蛇口から外してお手入れし、ホースの汚れは薄めた濃縮台所用液体洗剤「ディッシュ·ドロップ」で拭き取ります。切り換えバルブをお手入れする際は、蛇口取付キャップをゆるめ、蛇口から外して行います。お手入れが終わって蛇口に取り付けたら、原水と浄水のモードでそれぞれ十分水を通してからご使用ください。また、切り換えバルブ外側とホースの外側の汚れは薄めた「ディッシュ·ドロップ」を使って拭き取り、洗剤成分が残らないようにしっかりと水拭きします。なお、ホースの内側はお手入れできません。

[ご注意]原水口と浄水口のキャップの内部には、パッキンやステンレスボールなど、小さな部品がいくつか入っています。お手入れの際に紛失しないようにしてください。

eSpring浄水器Ⅱ用切り換えバルブ お手入れ方法

蛇口取付キャップを矢印の方向に回して外すと、内部にパッキンと網の部分があります。パッキンや網の部分に目詰まりや汚れがあれば、ブラシなどでよく水洗いします。

スクリーンが汚れていると浄水が飛び散ったりまっすぐ出なくなったりします。その場合はブラシなどでよく洗ってください。



泡沫水栓は原水口キャップの中に入っています。原水口キャップの中央を指で下から押すと外れます。

原水口と浄水口のキャップを矢印の方向に回して、切り換えバルブ本体から外します。内部の網の部分に目詰まりや汚れがあれば、ブラシなどでよく水洗いします。洗い終えたら、元通りに切り換えバルブ本体にしっかり取り付けます。原水口、浄水口ともにキャップがしまっていないと水漏れする場合がありますので必ず回らなくなるまでしっかり取り付けてください。

100

3

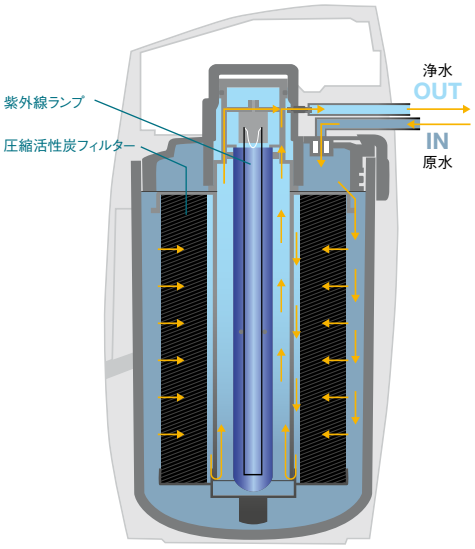
テクニカル インフォメーション

1 浄水プロセス …… 52
2 NSFインターナショナル データリスト1 …… 54
3 NSFインターナショナル データリスト2 …… 56
4 除去・不活性化物質一覧 …… 58
5 取得特許 …… 60

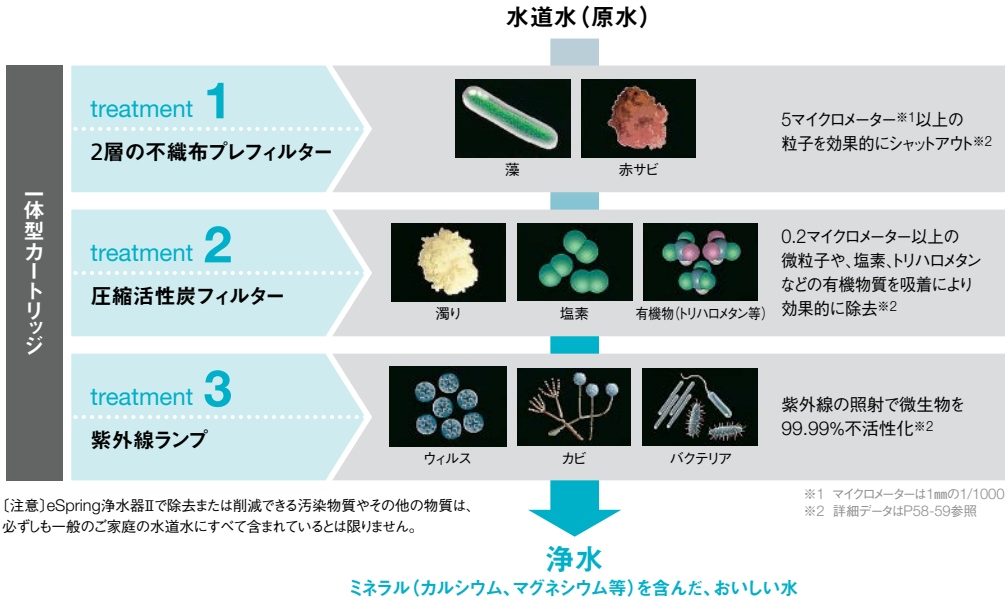
仕様および製品一覧 …… 62
蛇口タイプ別取付部品対応表 …… 64

1 eSpring浄水器Ⅱの浄水プロセス

eSpring浄水器Ⅱのフィルターは3層構造となっています。まず原水は外側から2層の不織布プレフィルターを通り、5マイクロメーター以上の粒子を取り除き、次に圧縮活性炭フィルターに入ります。このフィルターは、細かく粉砕した活性炭に特殊なバインダー（結合剤）を加えて、加熱しながら押し固めて多孔質のブロックにしたものです。また、eSpring浄水器Ⅱでは、水の中に含まれている数多くの化学物質を活性炭の効果により吸着、または水にとけていない0.2マイクロメーター以上の微粒子を物理的に取り除きます。圧縮活性炭フィルターを通った水は、次に紫外線照射を受けます。一定の波長の紫外線が瞬時に照射されることで、バクテリアやウイルスを不活性化させます。つまりeSpring浄水器Ⅱは、2層の不織布プレフィルターと独自に開発された圧縮活性炭フィルター、そして特別設計された紫外線ランプを使用した3段階の浄水システムを採用しているのです。以上が、eSpring浄水器Ⅱの浄化プロセスの概略です。またeSpring浄水器Ⅱには、スマートチップにより、浄水した水の量や使用時間を記憶し、その情報をもとにフィルターと紫外線ランプの一体型カートリッジの取り換え時期をお知らせするモニター機能が付いています。また、電源ONと同時にシステムを自動点検する機能も搭載しています。



一体型カートリッジの断面イラスト

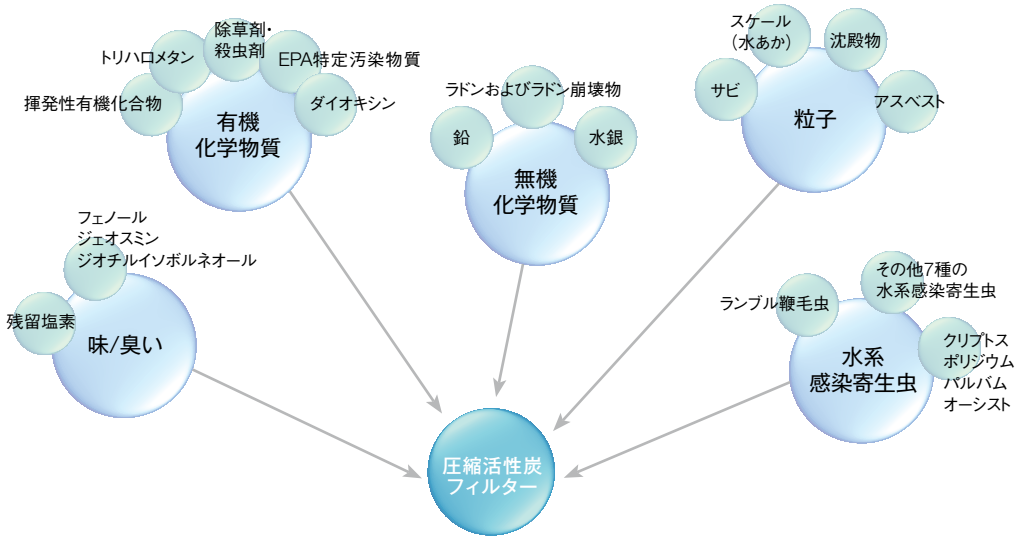


〔注意〕eSpring浄水器Ⅱで除去または削減できる汚染物質やその他の物質は、必ずしも一般のご家庭の水道水にすべて含まれているとは限りません。

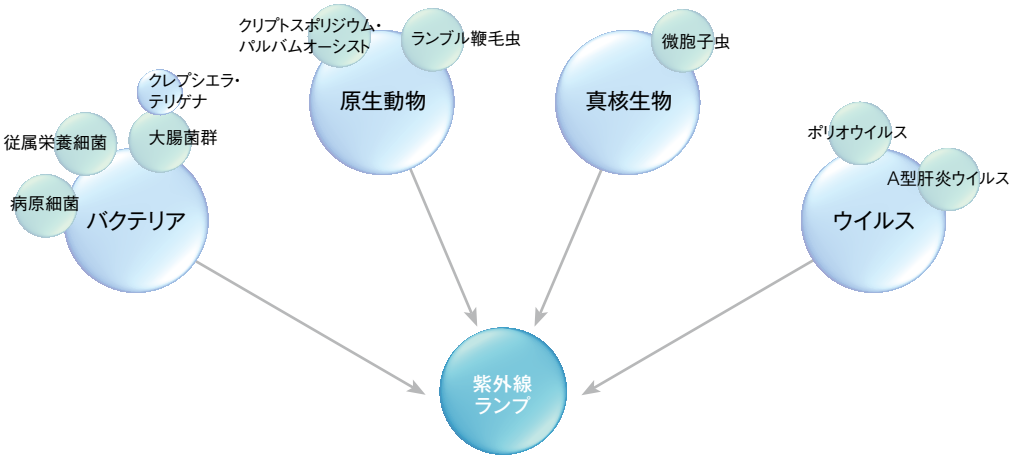
※1 マイクロメーターは1㎜の1/1000
※2 詳細データはP58-59参照

■ 除去・低減チャート

圧縮活性炭フィルターによる不純物低減チャート



紫外線ランプによる微生物低減チャート



（注）このチャート図はeSpring浄水器Ⅱで除去または不活性化できる汚染物質やその他の物質を表わしたものであり、
必ずしも一般のご家庭の水道水にすべて含まれているとは限りません。

2 NSFインターナショナル データリスト1

米国ミシガン州に本部を置くNSFインターナショナル（National Sanitation Foundation International）は、1944年に設立され、さまざまな家庭用品や工業製品のための審査基準を独自に設定し、その基準に基づき試験・認定等を行う機関です。つまりNSFインターナショナルは、政府機関でもなく民間業界が影響を持つ機関でもない、客観的で信頼できる独立した第三者機関であり、政府の取締機関や公衆衛生局員、業界代表者、科学者、医師等の幅広い経験を持つ代表で組織される評議委員会が、さまざまな技術問題を検討しながら認定基準を作り、承認をおこなっています。1990年からはANSI（米国規格協会）によってISO9000およびQS−9000の登録機関として認定され、1998年からはWHO（世界保健機関）の「飲料水の安全と処理のための協力研究機関」として指定されています。必要な試験に合格した製品は一定の基準を満たすものと評価され、NSFインターナショナルが公開しているリストに掲載される資格を持つとともに、製品に適合マークを付けることが義務づけられることになります。eSpring浄水器Ⅱは試験の結果、以下に示す物質を除去する浄水器として、NSFインターナショナルが公開している製品のリストに掲載されています。

NSFインターナショナル基準

基準 No.42
感覚的要因の除去性能基準

❶ 味、臭い及び塩素の除去基準（クラスI）※1
❷ 微粒子の除去基準（クラスI）※1

基準 No.53
健康に影響を与える要因の除去性能基準

❶ 各種の有機・無機化学物質の除去基準
❷ トリハロメタン類を含む揮発性有機化合物（VOC）の除去基準※2
アラクロール/アトラジン/ヘプタクロルエポキシド/クロルデン/PCB/ジブロモクロロプロパン/二臭化エチレン
❸ 懸濁固形物の除去基準
鉛/水銀/アスベスト/リンデン/メトキシクロル/2,4-D/トキサフェン/2,4,5-TP（シルベックス）

基準 No.55
紫外線による微生物抑制基準

微生物の削減-クラスB※3

※1　基準No.42において、クラスIは、微粒子および味、臭い、塩素に関するランクの中で、最も高いランクであり、効果の高さを示します。微粒子に関しては、クラスIからクラスⅢまでのランクがあり、また味、臭い、塩素に関しては、クラスIからクラスⅢまでのランクがあります。
※2　基準53には、以下の揮発性有機化合物（VOC）が掲げられています。
アラクロール／アトラジン／ベンゼン／カルボフラン／四塩化炭素／クロロベンゼン／クロロピクリン／2,4−D／ジブロモクロロプロパン／オルト-ジクロロベンゼン／パラ-ジクロロベンゼン／1,2−ジクロロエタン／1,1−ジクロロエチレン／シス-1,2−ジクロロエチレン／トランス-1,2-ジクロロエチレン／1,2-ジクロロプロパン／シス-1・3-ジクロロプロピレン／ジノセブ／エンドリン／エチルベンゼン／二臭化エチレン／ハロアセトニトリル／ハロケトン／ヘプタクロル／ヘプタクロルエポキシド／ヘキサクロロブタジエン'ヘキサクロロシクロペンタジエン／リンデン／メトキシクロル／ペンタクロロフェノール／シマジン／スチレン／1,1,2,2−テトラクロロエタン／テトラクロロエチレン／トルエン／2,4,5-TP（シルベックス）／トリブロム酢酸／1,2,4-トリクロロベンゼン／1,1,1-トリクロロエタン／1,1,2−トリクロロエタン／トリクロロエチレン／トリハロメタン／キシレン
※3　家庭用浄水器はクラスBに分類され、業務用浄水器はクラスAに分類されます。

（注）NSFインターナショナルのリストにある物質の試験は、上記に限られます。
この他にeSpring浄水器Ⅱが試験を行なっている物質（P58-59参照）は、NSFインターナショナルのリストにはなくアムウェイが独自に行なっている試験です。

■ 物質削減リスト

eSpring浄水器ⅡはNSF／ANSI基準No.42及びNo.53に基づき、下記にリストされている物質の削減に関する試験を受けています。NSF／ANSI基準No.42およびNo.53で規定されているように、下記の流入水中の被験物質濃度は処理水における許容限度以下に削減されました。(2009年8月現在)

物質名	被験流入水中の濃度	規定の削減率／処理水における最大許容濃度	削減率(%)
NSF/ANSI 基準No.42　感覚的要因			
微粒子(クラス1) (0.5から1マイクロメーター未満の数/mL)	>10,000	>85%	99.9
塩素の味と臭い(塩素としてmg/L)	2±10%	≥50%	97.4
クロラミン(mg/L)	3±10%	0.5	97.6
NSF/ANSI 基準No.53　健康への要因			
アスベスト(本数/mL>10μm)	10^4-10^5	>99%	>99.6
pH6.5の時の鉛(μg/L)	150±10%	10	>99.3
pH8.5の時の鉛(μg/L)	150±10%	10	>99.3
pH6.5の時の水銀(μg/L)	6.0±10%	2.0	>96.7
pH8.5の時の水銀(μg/L)	6.0±10%	2.0	91.7
アラクロール(μg/L)	40±10%	2.0	>97.6
アトラジン(μg/L)	9±10%	3.0	>94.7
ベンゼン(μg/L)	15±10%	5.0	>99.7
カルボフラン(μg/L)	80±10%	40	>98.4
四塩化炭素(μg/L)	15±10%	5.0	>96.7
クロルデン(μg/L)	40±10%	2.0	>99.4
クロロベンゼン(μg/L)	2,000±10%	100	>99.9
2,4-D(μg/L)	210±10%	70.0	>99.9
ジブロモクロロプロパン(μg/L)	4±10%	0.20	>99.7
オルトージクロロベンゼン(μg/L)	1,800±10%	600	99.9
エンドリン(μg/L)	6±10%	2.0	>96.7
エチルベンゼン(μg/L)	2,100±10%	700	>99.9
二臭化エチレン(μg/L)	1±10%	0.05	>99.0
ヘプタクロル(μg/L)	80±10%	0.4	>99.9
ヘプタクロルエポキシド(μg/L)	4±10%	0.20	>99.5
リンデン(μg/L)	2±10%	0.20	>99.0
メチル-tert-ブチルエーテル(MTBE) (μg/L)	15±10%	5.0	95.9
メトキシクロル(μg/L)	120±10%	40.0	99.9
PCB(アラクロール1260) (μg/L)	10±10%	0.5	97.2
ラドン(pCi/L)	4,000±25%	300	99.9
シマジン(μg/L)	12±10%	4	>98.3
スチレン(μg/L)	2,000±10%	100	>99.9
テトラクロロエチレン(μg/L)	15±10%	5	>95.5
トルエン(μg/L)	3,000±10%	1,000	99.9
総トリハロメタン(クロロホルムとして) (μg/L)	450±20%	80.0	99.8
トキサフェン(μg/L)	15±10%	3.0	>93.1
2,4,5TP(シルベックス) (μg/L)	150±10%	50.0	99.9
トリクロロエチレン(μg/L)	300±10%	5	>99.82
*VOC(クロロホルムとして) (mg/L)	300±10%	95%	>99.8

検査基準：pH:7.75、圧力:4.15kg/㎠(415kPa)、流量:3.4L/分 *この欄の数値は、飲料用浄水器が満たさなくてはならないVOC除去値です。

基準No.55紫外線による微生物抑制基準

	eSpring浄水器Ⅱの紫外線強度	NSF基準の紫外線強度
微生物の削減-クラスB	70,000μw-sec/cm²	16,000μw-sec/cm²以上

3 NSFインターナショナル データリスト2

代用物試験に用いられる有機化学物質 ［基準No.53健康に影響を与える要因の除去性能基準］

それぞれの物質についておこなう試験の他に、NSFインターナショナル基準No.53では他のVOC（揮発性有機化合物）の除去性能を確認するための試験にクロロホルムを代用化合物として使用しています。活性炭フィルターがクロロホルムを取り除く場合、そのフィルターは他にも数多くのVOCをクロロホルムと同等か、あるいはそれ以上に除去することが報告されています。このことは、VOC混合物を含有する水をさまざまなデザインの活性炭フィルターを使用しておこなった試験でも証明されています。流出水を分析し各種VOCの漏出順とクロロホルムの漏出とを比較したところ、フィルターのデザインが違えば処理能力も違いますが、漏出順は類似していました。NSFインターナショナルは、流入水の濃度300μg／Lでクロロホルムを用いて試験をおこないます。基準値を満たすためには、流量測定機能がない浄水器の場合はフィルターの定格寿命の2倍を経過した時点で、流量測定機能がある浄水器であれば定格寿命の120％の時点で、クロロホルムを95％以上除去しなければなりません。eSpring浄水器Ⅱはこの試験に合格し、代用物試験によるVOC（トリハロメタン類を含む）を除去する浄水器として、NSFインターナショナルが公開している製品のリストに掲載されています。

■ 代用物試験に用いられる有機化学物質

物質名	被験流入水中の濃度（μg/L）	処理水中の最高濃度（μg/L）
アラクロール	50	1.0
アトラジン	100	3.0
ベンゼン	81	1.0
カルボフラン	190	1.0
四塩化炭素	78	1.8
クロロベンゼン	77	1.0
クロロピクリン	15	0.2
2,4-D	110	1.7
ジブロモクロロプロパン（DBCP）	52	0.02
オルト-ジクロロベンゼン	80	1.0
パラ-ジクロロベンゼン	40	1.0
1,2-ジクロロエタン	88	4.8
1,1-ジクロロエチレン	83	1.0
シス-1,2-ジクロロエチレン	170	0.5
トランス-1,2-ジクロロエチレン	86	1.0
1,2-ジクロロプロパン	80	1.0
シス-1,3-ジクロロプロピレン	79	1.0
ジノゼブ	170	0.2
エンドリン	53	0.59
エチルベンゼン	88	1.0
二臭化エチレン（EDB）	44	0.02
ハロアセトニトリル（HAN）		
ブロモクロルアセトニトリル	22	0.5
ジブロモアセトニトリル	24	0.6
ジクロロアセトニトリル	9.6	0.2
トリクロロアセトニトリル	15	0.3

物質名	被験流入水中の濃度（μg/L）	処理水中の最高濃度（μg/L）
ハロケトン（HK）		
1,1- ジクロロ -2- プロパノン	7.2	0.1
1,1,1- トリクロロ -2- プロパノン	8.2	0.3
ヘプタクロル	250	0.01
ヘプタクロルエポキシド	10.7	0.2
ヘキサクロロブタジエン	44	1.0
ヘキサクロロシクロペンタジエン	60	0.002
リンデン	55	0.01
メトキシクロル	50	0.1
ペンタクロロフェノール	96	1.0
シマジン	120	4.0
スチレン	150	0.5
1,1,2,2- テトラクロロエタン	81	1.0
テトラクロロエチレン	81	1.0
トルエン	78	1.0
2,4,5-TP（シルベックス）	270	1.6
トリブロム酢酸	42	1.0
1,2,4- トリクロロベンゼン	160	0.5
1,1,1- トリクロロエタン	84	4.6
1,1,2- トリクロロエタン	150	0.5
トリクロロエチレン	180	1.0
トリハロメタン（以下を含む） クロロホルム（代用化学物質） ブロモホルム ブロモジクロロメタン ジブロモクロロメタン	300	15
キシレン（合計）	70	1.0

>:より大きい　<:より小さい　N/A=検出されず

※　流入水の濃度は、代用認定試験で決定された濃度の平均値です。
※　化学物質除去率は、代用認定試験でクロロホルムの漏出点が95%となったときの計算値です。

（注）NSFインターナショナルのリストにある物質の代用試験は、上記に限られます。NSFインターナショナルの基準を満たすには、このリスト以上でなければなりません。この他にeSpring浄水器Ⅱが試験を行なっている物質（P58-59参照）は、NSFインターナショナルのリストにはなくアムウェイが独自に行っている試験です。

4 除去・不活性化物質一覧

eSpring浄水器Ⅱ　除去・不活性化物質一覧

eSpring浄水器Ⅱは浄水能力の自社試験において、水銀やアスベストのような無機物から
ダイオキシンなどの有機物、感染寄生虫などを効果的に除去できることが確認されています。
また、A型肝炎ウィルスや細菌など17の物質について99.9%以上不活性化することができます。

■ プレフィルター + 圧縮活性炭フィルター

物質の分類	物質名	除去率*(%)
無機	アスベスト	>99
有機	アセナフチレン	>99.7
有機	アセナフテン	>99.7
農薬	アトラジン	>90
農薬	アラクロール	>95
農薬	アルディカーブ	99.8
殺虫剤	アルドリン	97.4
殺虫剤	アントラセン	99.6
有機	イソホロン	>98.4
有機	エチルベンゼン	>95
有機	塩化ビニル	>93.9
殺虫剤	エンドサルファンサルフェート	95.4
殺虫剤	エンドリン	>95
殺虫剤分解副産物	エンドリンアルデヒド	>99.0
水道水の殺菌	塩素	97.5
有機	オルト-キシレン	>99.8
殺虫剤	オルト-ジクロロベンゼン	>99.8
殺虫剤	カルバリル	>98.3
殺虫剤	カルボフラン	98.8
殺虫剤	グチオン	>99.9
有機	クリセン	>97.8
殺虫剤	クロルデン	98.2
殺虫剤	クロルピリホス	>99.9
農薬	クロロピクリン	>99.2
有機	クロロベンゼン	>99.9
水道水の殺菌	クロラミン	97.6
有機	クロロホルム	99.5
有機	ケロセン	>97.8
有機	ジ-n-オクチルフタレート	>98.8
有機	ジ-n-ブチルフタレート	>99.6
有機	ジエチルフタレート	>99.7
有機	四塩化炭素	>96.8
消毒副産物	ジクロロアセトニトリル	97.9
有機	シス-1,2-ジクロロエチレン	99.7
有機	シス-1,3-ジクロロプロピレン	98.7
農薬	ジノゼフ	99.9
消毒副産物	ジブロモアセトニトリル	97.5
殺虫剤	ジブロモクロロプロパン(DBCP)	99.9
有機	ジブロモクロロメタン	>95
有機	ジベンゾ[a,h]アントラセン	>99.3
除草剤	シマジン	98.2
有機	ジメチルフタレート	>99.8
無機	水銀	>95
有機	スチレン	>99.9

物質の分類	物質名	除去率*(%)
殺虫剤	ストリキニーネ	>99.8
有機	ガソリン	>91.3
有機	ディーゼル燃料	>91.3
殺虫剤	ディルドリン	99.7
有機	テトラクロロエチレン	98.8
殺虫剤	トキサフェン	>93.1
有機	トランス-1,2-ジクロロエチレン	98.8
有機	トランス-1,3-ジクロロプロペン	>99.9
消毒副産物	トリクロロアセトニトリル	98
有機	トリクロロエチレン	>99.8
消毒副産物	トリブロム酢酸	97.6
有機	トルエン	99.5
消毒副産物	突然変異原X(MX又は3-クロロ-4-ジクロロメチル-5-ヒドロキシ-2[5H]-フラノン)	>93
有機	ナフタレン	>99.7
無機	鉛	>99.3
殺虫剤	二臭化エチレン(EDB)	>99.0
有機	ニトロベンゼン	>98.5
有機	パラ-キシレン	>99.8
防虫剤	パラ-ジクロロベンゼン	98
殺虫剤	パラチオン	99.9
有機	ビス(2-エチルヘキシル)フタレート	99.0
有機	ビス(2-クロロエトキシ)メタン	>99.3
有機	ビス(2-クロロイソプロピル)エーテル	>98.3
有機	ビス(2-クロロエチル)エーテル	>99.0
有機	ピレン	>98.1
有機	フェナントレン	>99.0
有機	フェノール	>98.1
有機	ブチルベンジルフタレート	>99.4
有機	フルオランテン	>98.2
有機	フルオレン	>99.7
消毒副産物	ブロモクロロアセトニトリル	97.7
有機	ブロモジクロロメタン	99.5
有機	ブロモホルム	99.5
有機	ヘキサクロロエタン 炭化水素類(ガソリン、ケロセン、ディール燃料を参照)	>96.6
有機	ヘキサクロロシクロペンタジエン	>99.9
有機	ヘキサクロロブタジエン	97.7
除草剤、殺菌剤	ヘキサクロロベンゼン	>98.8
殺虫剤	ヘプタクロル	99.9
殺虫剤	ヘプタクロルエポキシド	>99.5
有機	ベンジン	>99.6

*6,000L通水時

物質の分類	物質名	除去率*(%)
有機	ベンゼン	>96.5
有機	ベンゾ[a]アントラセン	>99.3
有機	ベンゾ[a]ピレン	92.5
有機	ベンゾ[b]フルオランテン	98.7
有機	ベンゾ[g,h,i]ペリレン	91.0
有機	ベンゾ[k]フルオランテン	98.1
殺虫剤	ペンタクロロフェノール	99.0
藻毒素	マイクロシスチンLR	99.8
殺虫剤	マラチオン	>99.0
有機	メタ-キシレン	>99.8
有機	メチル-tert-ブチルエーテル	>95.8
殺虫剤	メトキシクロル	99.9
無機	ラドン	>99.9
殺虫剤	リンデン	>95
消毒副産物	1,1,1-トリクロロ-2-プロパノン	>98.3
有機	1,1,1-トリクロロエタン	94.5
有機	1,1,2,2-テトラクロロエタン	98.8
有機	1,1,2-トリクロロエタン	99.7
消毒副産物	1,1-ジクロロ-2-プロパノン	>98.0
有機	1,1-ジクロロエチレン	98.8
有機	1,2,3-トリクロロプロパン	>99.4
有機	1,2,4-トリクロロベンゼン	99.7
有機	1,2-ジクロロエタン	94.5
有機	1,2-ジクロロプロパン	98.8
有機	1,2-ジフェニルヒドラジン	>99.0
有機	1,3-ジクロロベンゼン	>99.8
殺虫剤	2,4,5-TP(シルベックス)	>95.5
殺虫剤	2,4,6-トリクロロフェノール	>98.7
除草剤、殺菌剤	2,4-D	99.9
有機	2,4-ジクロロフェノール	>98.7
有機	2,4-ジニトロトルエン	>94.3
有機	2,4-ジニトロフェノール	>98.7
農薬	2,4-ジメチルフェノール	>98.7
有機	2,6-ジニトロトルエン	>95.1
有機	2-クロロエチルビニルエーテル	>99.9
有機	2-クロロナフタレン	95.3
有機	2-クロロフェノール	>98.1
有機	2-ニトロフェノール	>99.5
有機	3,3'-ジクロロベンジン	>99.6

物質の分類	物質名	除去率*(%)
殺虫剤	4,4'-DDD	97
有機	4,4'-ジブロモ-1,1'-ビフェニル	95.7
有機	4,6-ジニトロ-2-メチルフェノール	>99.3
有機	4-クロロ-3-メチルフェノール	>99.1
有機	4-クロロフェニル フェニルエーテル	>99.1
有機	4-ニトロフェノール	>99.8
有機	4-ブロモフェニル フェニルエーテル	>99.1
有機	N-ニトロソジ-n-プロピルアミン	>99.2
有機	N-ニトロソジフェニルアミン	>99.1
ダイオキシン類	PCB(アロクロール1260)	96.9
ダイオキシン類	PCB-1016	>98.8
ダイオキシン類	PCB-1221	>99.6
ダイオキシン類	PCB-1232	>98.4
ダイオキシン類	PCB-1242	>99.2
ダイオキシン類	PCB-1248	>99.4
ダイオキシン類	PCB-1254	>97.5
ダイオキシン類	TCDD (2,3,7,8-テトラクロロジベンゾパラダイオキシン)	>99.9
ダイオキシン類	TCDF (2,3,7,8-テトラクロロジベンゾフラン)	>99.9
殺虫剤	α-BHC	>99.6
殺虫剤	α-エンドサルファン	97.1
殺虫剤	β-BHC	>99.6
殺虫剤	β-エンドサルファン	97.5
殺虫剤	γ-BHC	>99.6
殺虫剤	δ-BHC	>99.6
水系感染寄生虫	ランブル鞭毛虫	99.99
水系感染寄生虫	原生寄生虫	99.99
水系感染寄生虫	マイクロスポリジウム	99.99
水系感染寄生虫	クリプトスポリジウム・パルバム	99.99
水系感染寄生虫	エンドリマックス	99.99
水系感染寄生虫	ヨードアメーバ	99.99
水系感染寄生虫	ネグレリア	99.99
水系感染寄生虫	サイクロスポラカイエタネシス	99.99
水系感染寄生虫	赤痢アメーバ	99.99
水系感染寄生虫	トキソプラスマ	99.99
水系感染寄生虫	アカントアメーバ	99.99
水系感染寄生虫	有鉤条虫の卵	99.99
水系感染寄生虫	蛔虫の卵	99.99

*6,000L通水時

■ 紫外線ランプ

物質の分類	物質名	不活性化率*(%)
ウィルス	A型肝炎ウィルス	>99.9999
細菌	エルシニア・エンテロコリチカ	>99.9999
細菌	エロモナス・ヒドロフィラ	>99.9999
細菌	カンピロバクター・ジェジェニ	>99.9999
原生動物	クリプトスポリジウム・パルバムオーシスト	99.9
細菌	クレブシエラ・テリゲナ	>99.9999
細菌	サルモネラ・ティフィ	>99.9999
細菌	シゲラ・ディセンテリエ	>99.9999

物質の分類	物質名	不活性化率*(%)
ウィルス	大腸菌ファージMS-2	99.97
細菌	腸出血性大腸菌	>99.9999
細菌	ビブリオ・コレレ	>99.9999
真核生物	微胞子虫	>99.9999
細菌	ヘリコバクター	>99.9999
ウィルス	ポリオウィルス	>99.99
原生動物	ランブル鞭毛虫	99.9
細菌	レジオネラ・ニューモフィラ	>99.9999
ウィルス	ロタウィルス	>99.99

※eSpring浄水器Ⅱの浄水性能を確認するために実施された様々な試験方法や結果はamwaylive.comのブランド紹介ページにてご確認いただけます。 *6,000L通水時

5 取得特許

eSpring浄水器Ⅱは米国で15件、世界各国で65件の特許を取得。

アムウェイ浄水器とeSpring浄水器およびeSpring浄水器Ⅱの技術は
米国特許を15件取得のほか、世界各国で65件の特許を取得（2008年4月現在）。
eSpring浄水器Ⅱの技術とデザインは世界でその先進性が認められています。

米国特許取得

1 eSpring浄水器Ⅱのデザイン

No.6984320

eSpring浄水器Ⅱで使用されているフィルターの内部に、紫外線ランプを入れるという構造を有する浄水システムに関して。

2 電磁誘導を利用した浄水システム

No.6436229

浄水器本体と紫外線ランプの電磁誘導技術とスマートチップを利用した浄水システムに関して。

3 電磁誘導バラスト設計のためのバラスト回路

No.6825620

4 eSpring浄水器Ⅱの圧縮活性炭フィルター

No.6368504

5 紫外線ランプのスターターアッセンブリ

No.6806649 No.7170200

6 eSpring浄水器Ⅱ用紫外線ランプのアッセンブリ

No.6514420

7	電磁誘導を利用した紫外線ランプのアッセンブリ	No.6917163
8	紫外線ランプを製造する方法	No.6831417 No.7153178
9	強誘電体メモリ(スマートチップ)を使用した浄水システム	No.6673250
10	紫外線ランプ、フィルター一体型カートリッジのデザイン	No.5573666 No.5529689
11	eSpring浄水器Ⅱのバラスト回路	No.7180248

アムウェイ浄水器からの特許

1	浄水器用紫外線ランプの変圧器	No.5738780

■ eSpring浄水器Ⅱ

シンクの上に置くなら

eSpring浄水器Ⅱ（据置型）

交換用カートリッジ（フィルター）定期配送付き

便利でお得！

【4074】DC：115,560円 / MP：127,120
PV 83,220 / BV 115,560
標準小売価格 144,450円　100188SS
※ 据置型には、浄水器本体、切り換えバルブ、
切り換えバルブ取付部品、ホースが含まれます。

eSpring浄水器 Ⅱ（据置型5年保証付き）

交換用カートリッジ（フィルター）定期配送付き

便利でお得！

【4076】DC：120,700円 / MP：132,770
PV 86,930 / BV 120,700
標準小売価格 150,880円　251284SS
※ 据置型には、浄水器本体、切り換えバルブ、切り換えバルブ取付部品、ホースが含まれます。

eSpring浄水器Ⅱ（据置型）

【4762】DC：115,560円 / MP：127,120
PV 83,220 / BV 115,560
標準小売価格 144,450円　100188J
※ 据置型には、浄水器本体、切り換えバルブ、切り換えバルブ取付部品、ホースが含まれます。

eSpring浄水器 Ⅱ（据置型5年保証付き）

【4062】DC：120,700円 / MP：132,770
PV 86,930 / BV 120,700
標準小売価格 150,880円　251284DDD
※ 据置型には、浄水器本体、切り換えバルブ、切り換えバルブ取付部品、ホースが含まれます。

シンクをすっきりさせるなら

eSpring浄水器Ⅱ（ビルトイン型）

交換用カートリッジ（フィルター）定期配送付き

便利でお得！

【4075】DC：137,400円 / MP：151,140
PV 98,950 / BV 137,400
標準小売価格 171,750円　100189SS
※ ビルトイン型には、浄水器本体、補助水栓が含まれます。
これ以外に工事費が別途必要になります。

eSpring浄水器 Ⅱ（ビルトイン型5年保証付き）

交換用カートリッジ（フィルター）定期配送付き

便利でお得！

【4077】DC：142,540円 / MP：156,790
PV 102,650 / BV 142,540
標準小売価格 178,180円　251285SS
※ ビルトイン型には、浄水器本体、補助水栓が含まれます。これ以外に工事費が別途必要になります。

eSpring浄水器Ⅱ（ビルトイン型）

【4763】DC：137,400円 / MP：151,140
PV 98,950 / BV 137,400
標準小売価格 171,750円　100189J
※ ビルトイン型には、浄水器本体、補助水栓が含まれます。これ以外に工事費が別途必要になります。

eSpring浄水器 Ⅱ（ビルトイン型5年保証付き）

【4063】DC：142,540円 / MP：156,790
PV 102,650 / BV 142,540
標準小売価格 178,180円　251285DDD
※ ビルトイン型には、浄水器本体、補助水栓が含まれます。これ以外に工事費が別途必要になります。

定期的なカートリッジ交換でeSpringの高い洗浄能力をしっかりキープ。

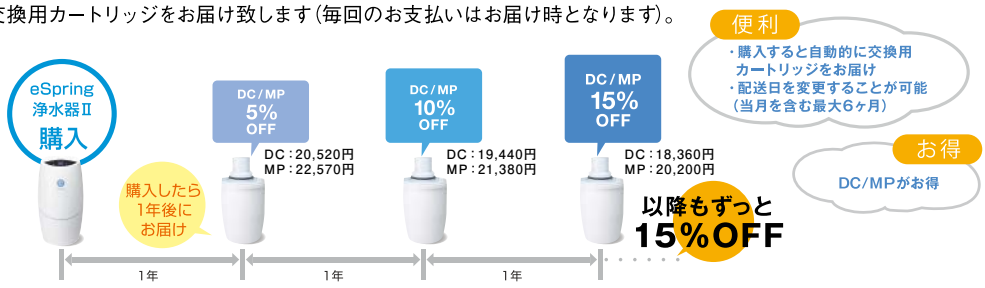
カートリッジの使用後（約5,900L通水）は、こんなに汚れていることが分かります。交換のタイミングは、1年間使用後または5,000Lの浄水使用後のどちらか早い方。定期的なフィルター交換が浄水器の高い浄水能力をキープし、安心でおいしい水を守ります。

使用前　　使用後例（約5,900L通水）

※掲載写真はサンプルのため必ずしも茶色くなる事はありません。

お得で便利な交換用カートリッジ（フィルター）定期配送付き。

交換用カートリッジ（フィルター）定期配送付きを購入すると、ご自身で申し込む手間がなく、自動的に1年ごとに、交換用カートリッジをお届け致します（毎回のお支払いはお届け時となります）。



【ご注意】
※お支払方法：「eSpring浄水器Ⅱ」ご購入と同じお支払い方法です。ただし、アムウェイクレジット、ロッピー、Yahoo !ウォレットにてご購入の場合 「代引き」（別途、代引き手数料315円がかかります）となります。配送時期：eSpring 浄水器Ⅱ ご購入日より、1 年後の同日を「オーダー処理日」として出荷されます。製品の配送日は、指定された「オーダー処理日」の翌営業日+1日が目安となります。本体ご購入時に配送時間帯を指定された場合は、交換用カートリッジも同じ配送時間帯となります。メールアドレスをご登録の方は、出荷時にアムウェイから「製品発送のご案内」をメールにてお知らせいたします。
受付後はいつでも、amwaylive.com よりキャンセル、ご変更（お支払方法、配送時期等）が可能です。

すでに本体をご購入済みの方は、eSpring浄水器Ⅱ用交換カートリッジのSOPをお申し込みください。

5年保証付きのeSpring浄水器Ⅱを選べば、さらに安心。

正常な使用状態で故障・損傷した場合には、お買い上げ日より2年間の保証が受けられます。さらに安心して、末永くeSpring浄水器Ⅱをお使いいただくために保証期間が5年間の製品もご用意しております。

※カートリッジの保証期間は6カ月となります。

5年保証　2年保証

浄水器取付けサービスに、全ておまかせ※1。

浄水器本体の取り付けやフィルター交換を有料10,000円（税込）にて承ります。ビルトイン型浄水器の設置は専門の工事および工事費が必要となりますので、20,000円～30,000円（税込）※2となります。詳細はテクニカル・ホットラインまでお問い合わせください。

※1お住まいの地域によっては、本サービスのお取り扱いをしていない場合がございます。
※2水栓の設置場所や水道配管によっては、追加費用がかかる場合がございます。

【本体取り付け（設置）サービス】
eSpring 浄水器Ⅱ（据置型）、eSpring 浄水器（据置型）、バスルーム浄水器

【フィルター（消耗品）交換サービス】
eSpring 浄水器Ⅱ：カートリッジ、切り換えバルブ、ホースの交換
eSpring 浄水器　：フィルター、紫外線（UV）ランプ、切り換えバルブ、ホースの交換
eSpring バスルーム浄水器：フィルター、ホース、シャワーヘッドの交換

テクニカル・ホットライン
フリーダイヤル 0120-950-987
［受付時間］月～土 9:00～17:00（日曜・祝日はサービス休止）
携帯電話からはこちらへ：0570-064-632［ナビダイヤル：有料］

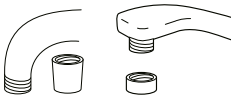
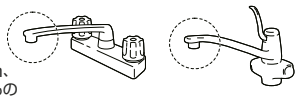
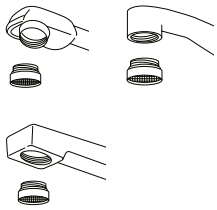
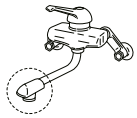
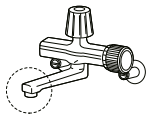
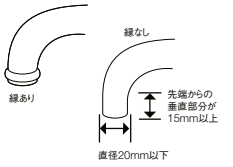
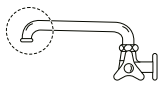
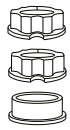
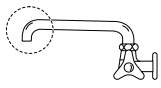
蛇口タイプ別取付部品対応表

eSpring浄水器Ⅱは、いろいろなタイプの蛇口に取り付けられるように切り換えバルブ取り付けキットがついています。浄水器を取り付ける蛇口がどのタイプに該当するかを確認し、必要部品を選んでください。

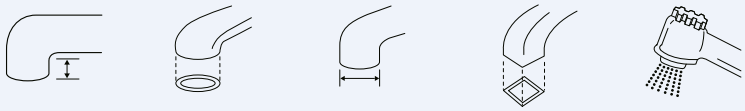
eSpring浄水器Ⅱ蛇口タイプ別取付部品対応表

eSpring 浄水器Ⅱはいろいろなタイプの蛇口に取り付けられるように切り換えバルブ取り付けキットがついています。
浄水器を取り付ける蛇口がどのタイプに該当するかを確認し、必要部品を選んでください。 ＊記載の蛇口、蛇口の形状は、参考例です。

＊蛇口先端部分のネジ山が樹脂製の場合、切り替えバルブの取り付けによってネジ山が破損し、水漏れの原因となることがあります。
その場合には樹脂製キャップの交換が必要となりますので、取扱説明書のP.28「断熱キャップが壊れている可能性があります」の欄を参照してください。

蛇口タイプ	蛇口の形状／直径／ピッチ／メーカー	使用する部品
Aタイプ（外ネジ式） 泡沫水栓金具が、蛇口の外側のネジによって取り付けられているタイプ 	国産型蛇口 TOTO、INAX製蛇口など、蛇口の直径が22mm、ピッチ1.25mmのもの 	外ネジ用アダプター1（パッキン付き）M22×P1.25
	外国産型蛇口 YANMAR、MOEN、GROHE製蛇口など、蛇口の直径が22mm、ピッチ1.0mmのもの	外ネジ用アダプター2（パッキン付き）M22×P1.0
Bタイプ（内ネジ式） 泡沫水栓金具が、蛇口の内側のネジによって取り付けられているタイプ 	国産型蛇口 KVK製蛇口など、蛇口の直径が23mm、ピッチ1.25mmのもの 	内ネジ用アダプター1（パッキン付き）M23×P1.25
	外国産蛇口 YANMAR、MOEN、GROHE製蛇口など、蛇口の直径が24mm、ピッチ1.0mmのもの	内ネジ用アダプター2（パッキン付き）M24×P1.0
	国産型蛇口 ミズタニバルブ製蛇口など、蛇口の直径が24mm、ピッチ1.25mmのもの 	内ネジ用アダプター3（パッキン付き）M24×P1.25
Cタイプ（ネジ山なし） 泡沫水栓金具がないため、ネジ山がないタイプ 	縁あり蛇口 蛇口の直径が16mm、17.5mm、19mmのもの（これらの蛇口リングが合わない場合、万能型アダプターで取り付けられることもあります） 	蛇口リング 直径16mm 直径17.5mm 直径19mm 
	縁なし蛇口 蛇口の直径が20mm以下のもの（ただし、先端下がりが15mm以上） 	万能型アダプター（ネジ3本付き）

取り付けられない蛇口



ネジ山も円形の縁もない蛇口で、先端からの垂直部分が15mm未満の蛇口

先端が楕円形の蛇口

ネジ山なしで直径が20mmを超える蛇口

先端が四角い蛇口

シャワーの蛇口

このほか、
下記の蛇口には取り付けできません。

- センサー付き蛇口
- 外ネジタイプ：
  蛇口直径が 22mm 以外
- 内ネジタイプ：
  蛇口直径が 23mm、24mm 以外

直径が細い蛇口でも取り付けられない場合があります。

蛇口取付部品についてご不明な点等ございましたら、切り換えバルブをお取付けになる蛇口の、「メーカー名と型番」※をご確認のうえ、テクニカル・ホットラインまでお問い合わせください。

※メーカー名・型番は、蛇口自体に刻印またはシールにて表示してあります。蛇口をご覧いただいてもわからない場合は、蛇口の取扱説明書をご確認ください。

amwaylive.com ヘルプ（よくある質問）でも、
eSpring浄水器Ⅱの蛇口タイプ別取付部品がご確認いただけます。

製品一覧

■ 交換パーツ

発注番号	製品名	DC（円）	MP（円）	PV	BV	標準小売価格（円）	マ	製品番号
4764	eSpring浄水器Ⅱ用 交換用カートリッジ	21,600	23,760	15,560	21,600	27,000	25	100186J
4767	eSpring浄水器Ⅱ用 切り換えバルブ	4,540	4,990	–	–	5,680	25	400582J
4768	eSpring浄水器Ⅱ用 ホース	860	950	–	–	1,080	25	400585T
4770	eSpring浄水器Ⅱ用 電源プラグ	3,200	3,520	–	–	4,000	25	WTI0420T
4769	eSpring浄水器Ⅱ用 補助水栓蛇口	2,320	2,550	–	–	2,900	25	WTI0379Z
4046	eSpring浄水器Ⅱ用 外ネジ用アダプター1	620	680	–	–	780	25	AD4046J
4047	eSpring浄水器Ⅱ用 外ネジ用アダプター2	620	680	–	–	780	25	AD4047J
4048	eSpring浄水器Ⅱ用 内ネジ用アダプター1	620	680	–	–	780	25	AD4048J
4049	eSpring浄水器Ⅱ用 内ネジ用アダプター2	620	680	–	–	780	25	AD4049J
4050	eSpring浄水器Ⅱ用 内ネジ用アダプター3	620	680	–	–	780	25	AD4050J
4051	eSpring浄水器Ⅱ用 蛇口リング（3点セット）	150	170	–	–	190	25	AD4051J
4052	eSpring浄水器Ⅱ用 万能型アダプター	620	680	–	–	780	25	AD4052J
4766	eSpring浄水器Ⅱ用 補助水栓	27,550	30,310	19,840	27,550	37,190	35	100663J
4771	eSpring浄水器Ⅱ用 L字型接続部品	410	450	–	–	510	25	WTI0618
4773	ホース接続部品セット	460	510	–	–	580	25	WTI0849
4772	補助水栓取付穴調整リング	210	230	–	–	260	25	WTI0848

eSpring浄水器Ⅱのアフターサービスは、テクニカル・ホットラインにおまかせください。

「eSpring浄水器Ⅱ」はその優れた性能に見合う、高いサービスを目指して取り付け修理サービス体制も充実しております。修理時には ①出張修理※ ②送付修理 ③引取り修理 の3つの中から、お客様が希望される修理サービスをお選びいただけます。
またeSpring浄水器Ⅱの製品の保証期間は、お買い上げより2年間、さらに5年間に保証を延長した「eSpring浄水器Ⅱ（据置型 5年保証付き）」「eSpring浄水器Ⅱ（ビルトイン型 5年保証付き）」もございます。

※ 修理内容によっては、出張修理ができない場合もあります。詳細は相談ホットラインまでお問い合わせください。

製品に関するお問合せはこちら

テクニカル・ホットライン フリーダイヤル 0120-950-987

［受付時間］月～土 9:00～17:00（日曜・祝日はサービス休止）
携帯電話からはこちらへ：0570-064-632［ナビダイヤル:有料］

インターネットで発注　パソコン・携帯電話・スマートフォンから

www.amwaylive.com

オーダーダイヤルで発注
ディストリビューター、アムウェイ ショッピング メンバーからの
ご注文およびMy月便のお申し込みや変更・キャンセルはこちらへ

受付時間：[月～金]9:00～21:00 [土]9:00～17:00（日・祝日はサービス休止）
※アムウェイ ショッピング メンバーのご入会も受付いたします【混み合う時間帯】[月～金]9:00～9:20/20:40～21:00 [土]9:00～9:20/16:40～17:00

0120-07-88-99

携帯電話からはこちらへ　0570-064-111　通話料有料

テクニカル・ホットライン
家電製品のご相談と修理受付はこちらへ

受付時間：[月～土]9:00～17:00（日・祝日はサービス休止）

0120-950-987

携帯電話からはこちらへ　0570-064-632　通話料有料

＊フリーダイヤル・ナビダイヤルともに、一部のIP電話、CATV電話、PHSなどからご利用になれない場合がございます。ご契約されている通信会社にお問い合わせいただきますようお願いいたします。
＊ナビダイヤルは、「ナビダイヤルでおつなぎしております～通話料金案内」ガイダンスの後に接続されます。＊番号のおかけ間違いにご注意ください。
＊スマートフォンサイトでの発注はディストリビューターの皆さま専用となります。ショッピング メンバーの皆さまはパソコンサイト、携帯電話サイトを発注にご利用ください。

【ご不満による返品および交換について】お買い求めいただいた製品に万一何らかのご不満が生じた場合は、「100%現金返済保証制度」にそって製品を返品することができます。この制度は、「特定商取引に関する法律」に定める「クーリング・オフ」の制度を、さらに前進・徹底させた日本アムウェイ独自のルールで、ディストリビューターの場合は、一定条件のもとで、納品書兼返金・返品依頼書に表示されている受注日の1年以内を期限として、一部の製品・販売促進物などを除き、製品を返品することができ、製品代金は全額返金されます。ただし、起算日※1から30日を超えた使用済みのハウスウエア、ホームテック製品等は返品することができません。また、製品ご購入時にお支払いいただいた送料・手数料などの製品代金以外の費用は、返金の対象とはなりません。アムウェイ ショッピング メンバーの場合は、納品書兼返金・返品依頼書に表示されている受注日の翌日から45日以内は、原則として一部の製品・販売促進物などを除き、使用・未使用にかかわらずご不満の製品に関して返品することができます。なお、製品ご購入時にお支払いいただいた送料・手数料などの製品代金以外の費用は、返金の対象とはなりません。また、お買い求めいただいた製品に、製造上の不良が発見された場合は、同一製品と交換することができます。ただし、浄水器などの家電製品について製造上の不良が発見された場合、または保証期間内に正常な使用状態で故障が生じた場合は、交換ではなく無償で修理いたします。なお、セットで販売した製品の返品・交換は、セットでのみお受けします。返品・交換および取り扱い手数料、送料などご注文に関する詳細は、お手元のアムウェイ カタログ※2やamwaylive.comをご参照ください。お客さまにおかれましては、お知り合いのアムウェイ・ディストリビューターに返品・交換に関する詳細をご確認ください。

※1 起算日とは、「小売伝票」の「ご契約内容確認書」、「お申込み内容確認書」、「納品書兼返金・返品依頼書」または「製品」の受領日のうち最も遅い日を指します。
※2 最新のアムウェイ カタログ（発注番号8404）は、1部100円にてお求めいただくことができます。

※印刷の色は実際と多少異なって見えることがありますが、ご了承ください。※表示の価格は、消費税込みの価格です。※本パンフレットに記載されている標準小売価格は参考価格であり、小売価格を拘束するものではありません。小売価格はディストリビューターの方が自由に設定できます。※記載事項の無断転載、無断使用を禁止します。

Amway
日本アムウェイ合同会社
〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-1
www.amway.co.jp 0120-123-777

235700J